

Nikon

デジタルカメラ

COOLPIX S810c

クールピクス S810c
使用説明書

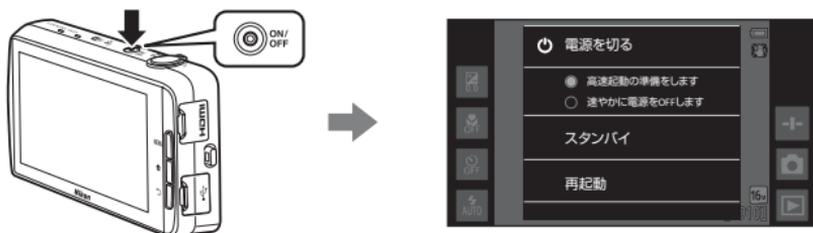


Jp

快適にお使いいただくために

COOLPIX S810cは、カメラを待機状態にして消費電力を抑える「スタンバイモード」機能を備えています。電源のOFFとスタンバイモードを使い分けて節電にお役立てください。

電源ONの状態ですべて電源スイッチを数秒押し続けると、選択画面が表示されます。



スタンバイモード

撮影の合間は「スタンバイ」を選びます。

- 待機状態から復帰するには、電源スイッチを押します。

電源OFF

しばらく使わないときは、「電源を切る」を選びます。

以下のオプションがあります。

- 「高速起動の準備をします」(初期設定)：電源を切る直前の状態を保存してから電源を切ります。次に電源をONにするときに、速やかに起動します。
- 「速やかに電源をOFFします」：直ちに電源を切ります。

❑ ご注意

電磁波を出す機器の使用が禁止または制限されている区域では、電源をOFFにしてください (□viii)。

はじめに	
各部の名称	
撮影と再生の基本ステップ	
いろいろな撮影	
いろいろな再生	
動画を撮影、再生する	
カメラに関する基本設定	
Android OS を使う	
テレビ、パソコンとの接続	
付録、索引	

はじめに

はじめにお読みください

ニコンデジタルカメラ COOLPIX S810c をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

お使いになる前に、本製品の使用方法や「安全上のご注意」(vi~xii)をよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

箱の中身をご確認ください

万一、不足のものがありましたら、ご購入店にご連絡ください。



COOLPIX S810c
カメラ本体



ストラップ



Li-ion リチャージャブル
バッテリー EN-EL23
(端子カバー付き)



本体充電 AC アダプター
EH-71P



USB ケーブル
UC-E21

- 使用説明書
- 保証書
- 登録のご案内

※メモリーカードは付属していません。

本書について

すぐにカメラをお使いになりたいときは、「撮影と再生の基本ステップ」(□10)をご覧ください。

また、カメラ各部の主な役割や基本的な操作方法は、「各部の名称」(□1)をご覧ください。

●「活用ガイド」のダウンロードについて

カメラについてさらに詳しい説明を知りたいときは、活用ガイド(PDF形式)をご覧ください。

活用ガイドは当社のホームページからダウンロードできます。

<http://nikonimglib.com/manual/>

活用ガイドをご覧いただくには、Adobe Readerが必要です。

●本書の記載について

- 本文中のマークについて

マーク	意味
☑	カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。
☒	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
□/🔍	関連情報が記載されているページです。🔍は「付録、索引」のページです。

- microSDHC/microSDXCカードを「カード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- 液晶モニターに表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[] で囲って表記しています。
- 本書では、液晶モニター上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。
- 本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっております。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないこととなります。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

●カスタマー登録のお願い

下記のホームページから登録をお願いします。

<https://reg.nikon-image.com/>

付属の「登録のご案内」に記載の登録コードをご用意ください。

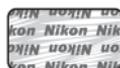
●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリ（電池、バッテリーチャージャー、本体充電ACアダプター、ACアダプター、USBケーブル）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL23には、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品のLi-ionリチャージャブルバッテリーをお使いになると、カメラの十分な性能が出せないことや、電池の異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。



ホログラム
シール

●説明書について

- ・説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- ・説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- ・製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- ・説明書が破損などで判読できなくなったときは、PDF ファイルを下記のホームページからダウンロードできます。

<http://www.nikon-image.com/support/manual/>

ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます(有料)。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したもの、またはインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得、もしくは本製品に予め搭載された文章、画像、映像、音楽、ソフトウェアなどの著作物は、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー（カード/カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。

メモリーを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトウェアなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後メモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします（[位置情報記録機能]（□78）は[しない]にしてください）。メモリーを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。

この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は次のようになっています。



危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

絵表示の例



△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告 (カメラについて)



分解禁止

分解したり、修理や改造をしないこと
感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。

**接触禁止**

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

**すぐに修理依頼を****水かけ禁止**

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと

発火したり感電の原因となります。

**電池を取る**

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。

電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。

電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

**すぐに修理依頼を****禁止**

通電中のカメラに長時間直接触れない

使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。

**使用禁止**

引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。

**発光禁止**

車の運転者等にとってフラッシュを発光しないこと

事故の原因となります。

**発光禁止**

フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害の原因となります。

撮影時には、1 m 以上離れてください。

特に乳幼児の撮影には注意してください。

**保管注意**

幼児の口にはいる小さな付属品は、幼児の手の届く所に置かない

幼児の飲み込みの原因となります。

飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。

**保管注意**

ストラップが首に巻き付かないようにすること

特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと

首に巻き付いて窒息の原因となります。



警告

指定の電源(電池、本体充電ACアダプター、ACアダプター、USBケーブル)を使う

指定以外のものを使うと、事故や故障の原因になります。



使用禁止

充電時やACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。



使用禁止

運転中や歩行中はヘッドセットやイヤホンを使用しない

事故の原因になります。



注意 (カメラについて)



感電注意

ぬれた手でさわらないこと

感電の原因になることがあります。



保管注意

製品は、幼児の手の届く所に置かない

ケガの原因になることがあります。



保管注意

使用しないときは、電源をOFFにしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること

太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。



移動注意

三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと

転倒したりぶつかったりしてケガの原因になることがあります。



使用注意

航空機内では、離着陸時に電源をOFFにする

飛行中は無線通信機能を使わない

病院では、病院の指示に従う

本機器が出す電磁波などが、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。



電池を取る

長期間使用しないときは電源(電池、本体充電ACアダプターまたはACアダプター)を外すこと

電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となる場合があります。



プラグを抜く

本体充電ACアダプターやACアダプターをお使いの際には、電源プラグをコンセントから抜いて、その後でカメラを取り外してください。火災の原因となる場合があります。

-  **発光禁止** 内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと
やけどや発火の原因となることがあります。
-  **禁止** 布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと
熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。
-  **放置禁止** 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない
故障や火災の原因になることがあります。

 **危険** (専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて)

-  **禁止** 電池を火に入れたり、加熱しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。
-  **分解禁止** 電池を分解しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。
-  **危険** 電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。
-  **危険** 専用の充電器を使用すること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。
-  **使用禁止** Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL23は、ニコンデジタルカメラ専用の充電電池で、COOLPIX S810cに対応しています。EN-EL23に対応していない機器には使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。
-  **危険** ネックレス、ヘアピンなど金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと
ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。
持ち運ぶときは端子カバーをつけてください。
-  **危険** 電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること
そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

警告 (専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて)



保管注意

電池は、幼児の手の届く所に置かない
幼児の飲み込みの原因となります。
飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。



水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと
液もれ、発熱の原因となります。



使用禁止

変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電をやめること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するとき、ビニールテープなどで接点部を絶縁すること
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコンサービス機関またはリサイクル協力店にご持参いただくか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。



警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと
そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

警告 (本体充電ACアダプターについて)



分解禁止

分解したり、修理や改造をしないこと
感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出した時は、露出部に手を触れないこと



すぐに修理依頼を

感電したり、破損部でケガをする原因となります。
電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

**使用禁止****指定のUSBケーブルを使う**

指定以外のものを使うと、事故や故障の原因になります。

**プラグを抜く**

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。

電源プラグをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。

電源プラグを抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

**すぐに修理依頼を****水かけ禁止**

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと

発火したり感電の原因となります。

**使用禁止**

引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。

**警告**

電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布で拭き取ること

そのまま使用すると、火災の原因になります。

**使用禁止**

雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。

雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

**禁止**

ケーブルを傷つけたり、加工したりしないこと

また、重いものを載せたり、加熱したり、引っばったり、むりに曲げたりしないこと

ケーブルが破損し、火災、感電の原因となります。

**感電注意**

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと

感電の原因となります。

**禁止**

海外旅行者用電子式変圧器(トラベルコンバーター)やDC/ACインバーターなどの電源に接続して使わないこと

発熱、故障、火災の原因となります。

**禁止**

通電中のACアダプターに長時間直接触れない

使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。

⚠ 注意 (本体充電ACアダプターについて)



感電注意

ぬれた手でさわらないこと
感電の原因になることがあります。



放置注意

製品は、幼児の手の届く所に置かない
ケガの原因になることがあります。



禁止

布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと
熱がこもりケースが変形し、火災の原因となる
ことがあります。

Wi-Fi (無線LAN) 機能について

● 電波に係わるご注意

- 本製品の Wi-Fi の無線機能は、ご購入された国の法令に準拠し、ご購入された国以外では使用できません。
ご購入された国以外での使用について、当社は一切の責任を負いません。
ご購入された国がわからないときは、本書裏面に記載のニコン カスタマーサポートセンターにご相談ください。

● Wi-Fi (無線LAN) 機能のご注意

2.4 DS4 / OF4

Wi-Fi (無線LAN) 機能：2.4DS4/OF4

本製品の使用周波数は 2.4 GHz 帯、変調方式は DSSS、OFDM、与干渉距離は約 40 m です。

- 本製品は、「電波法」に基づく技術基準適合認証を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上に表示しています。
以下の行為は法令で罰せられることがあります。
 - 本製品の分解/改造
 - 本製品から証明ラベルをはがす
- 本製品の使用周波数帯は、以下の機器や無線設備と同じです。
 - 電子レンジなどの産業・科学・医療用機器
 - 工場の製造ライン等の移動体識別用の
 - ① 構内無線局（免許を要する無線局）
 - ② 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
 - アマチュア無線局（免許を要する無線局）これらの無線設備の近くでは、電波干渉で通信速度の低下、通信距離の短縮、通信の途絶が双方に生じることがあります。
- 本製品で電波干渉を起こさないよう、以下にご注意ください。
 - 使用周波数帯が同じ無線設備が近くにないか？ 事前に確認する
 - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に電波干渉を生じたら、Wi-Fi アクセスポイントのチャンネル番号を変更して使用周波数を変える
 - その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面に記載のニコン カスタマーサポートセンターにご相談ください。
- データの送受信は、第三者に傍受される危険性にご留意ください。
データ送受信による情報漏洩には、当社は一切の責任を負いません。

- 本製品は、電子レンジなどの電気製品、AV 機器、OA 機器などの電磁波や磁気の発生源の周辺で使わないでください。
 - 雑音が増大したり、通信が途絶したりします。
 - AV機器、OA機器などの受信障害の原因になります。
- 本製品の Wi-Fi 機能は、無線ネットワーク環境を自動検索します。
 - 利用権限のない無線ネットワーク（SSID）が表示されることがあります。不正なアクセスと見なされる恐れがありますので、利用権限をお持ちでないSSIDについては接続をしないでください。
 - Wi-Fi アクセスポイントが近くに複数存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できないときもあります。
 - 公衆 Wi-Fi アクセスポイントの規格変更や仕様変更で、接続できなくなるときもあります。

● 本製品の使用上のご注意

本製品は、Wi-Fi（無線LAN）機器としてお使いください。

Wi-Fi 機器以外としての使用による損害は、当社では一切の責任を負いません。

- 医療機器や人命に直接的または間接的に係わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使わないでください。
- Wi-Fi 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途では、使用システムの安全設計や故障に対する適切な処置をしてください。

● 本製品の輸出、持ち出しに係るご注意

本製品は、米国輸出規制（EAR）を含む米国法の対象であり、米国政府指定の輸出規制国（キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シリア）への輸出や持ち出しには、米国政府の許可が必要になりますので、ご注意ください。なお、輸出規制国は変更されている可能性がありますので、詳しくは米国商務省へお問い合わせください。

● 個人情報の管理および免責事項

- 使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi（無線LAN）接続設定等の個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いで変化、消失する場合があります。
必要な内容は、お客さまの責任において控えを必ずおとりください。
当社の責によらない内容の変化、消失、それらに起因する直接または間接の損害および逸失利益には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品を譲渡/廃棄するときは、使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi 接続設定等の個人情報を含む内容を、Android™ OSの設定メニュー（☑86）の「バックアップとリセット」→「データの初期化」および「ストレージ」→「SDカード内データを消去」で消去してください。
- 本製品の盗難や紛失などで、第三者による不正使用の被害が発生しても、当社は一切の責任を負いません。

GPS機能について

● 個人情報についてのご注意

位置情報を記録した静止画や動画などから、個人を特定できることがあります。位置情報を記録した静止画、動画の、他人への譲渡やインターネットなど複数の人が閲覧できる環境への掲載にはご注意ください。

「●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意」（☑v）も必ずお読みください。

● 海外でお使いの場合

- GPS 機能付きカメラを旅行などで外国に持ち込む前に、使用規制の有無を旅行代理店や大使館などでお確かめください。
- 中国および中国の周辺国の国境付近では、GPS が正常に機能しない場合があります（2013年10月現在）。

目次

はじめに	ii
はじめにお読みください	ii
箱の中身をご確認ください	ii
本書について	iii
ご確認ください	iv
安全上のご注意	vi
Wi-Fi (無線 LAN) 機能について	xiii
GPS 機能について	xv

各部の名称	1
カメラ本体	1
ストラップの取り付け方	2
操作ボタンを使う	3
電源スイッチの長押しメニューを使う	3
タッチパネルの操作方法	4
液晶モニター / タッチパネルの表示内容	6
撮影モード	6
再生モード	8

撮影と再生の基本ステップ	10
準備 1 電池を入れる	10
準備 2 電池を充電する	12
準備 3 カードを入れる	14
内蔵メモリーとカードについて	15
準備 4 各種設定をする	16
日付と時刻の設定	17
ステップ 1 電源を ON にする	18
電源をONにしてすぐの撮影について	19
ステップ 2 撮影モードを選ぶ	20
撮影モードの種類	21
ステップ 3 カメラを構え、構図を決める	22
ズームを使う	23
ステップ 4 ピントを合わせ、シャッターをきる	24
シャッターボタンの半押しと全押し	25
ステップ 5 画像を再生する	26
ステップ 6 画像を削除する	28
ステップ 7 電源を OFF にする	30
節電機能について	31

画像にコメントを付ける	32
撮影時にコメントを付ける	32
再生時にコメントを付ける	33
コメントを見る/編集する	33
<hr/>	
いろいろな撮影	34
📷 (らくらくオート撮影) モード	34
📷 (オート撮影) モード	35
シーンモード (シーンに合わせて撮影する)	37
ヒントとご注意	39
スペシャルエフェクトモード (効果を付けて撮影する)	42
ベストフェイスモード (笑顔を撮影する)	44
撮影の基本設定	46
フラッシュを使う	47
セルフタイマーを使う	49
マクロ (接写) モードを使う	51
明るさを調整する (露出補正)	52
初期設定一覧	53
MENU ボタンで設定できる機能 (撮影メニュー)	55
撮影メニューの種類	56
組み合わせて使えない機能	57
ピント合わせについて	60
ターゲットファインドAFについて	60
顔認識撮影について	61
美肌機能について	62
オートフォーカスが苦手な被写体	62
フォーカスロック撮影	63
<hr/>	
いろいろな再生	64
拡大表示	64
サムネイル表示	65
タイムラインビュー (時系列で表示する)	66
画像をタイムラインに登録する	66
タイムラインビューで表示する	68
MENU ボタンで設定できる機能 (タイムラインメニュー)	69
MENU ボタンで設定できる機能 (再生メニュー)	70
<hr/>	
動画を撮影、再生する	72
動画を撮影する	72
MENU ボタンで設定できる機能 (動画メニュー)	75
動画を再生する	76

カメラに関する基本設定.....	77
MENU ボタンで設定できる機能 (セットアップメニュー)	77
Android OS を使う	79
ホーム画面の基本操作.....	79
ホーム画面の表示内容	79
主なアプリケーションを起動する	80
ステータスバーを使う	81
画面を切り換える.....	81
オプションメニューを使う	82
Google検索バーを使う	82
文字を入力する	83
キーボードを使う	83
テキストを編集する.....	84
音声入力機能を使う.....	85
Android OS の設定メニューを使う	86
インターネットサービスを使う.....	88
Wi-Fi (無線LAN) ネットワークを設定する.....	88
Googleアカウントを設定する.....	90
画像を共有する	91
インターネットを利用する	92
Google Playストアを利用する (アプリケーションの入手)	93
テレビ、パソコンとの接続	94
カメラとの接続方法.....	94
ViewNX 2を使う.....	96
ViewNX 2をインストールする	96
パソコンに画像を取り込む.....	97
画像を見る.....	99
付録、索引.....	1
取り扱い上のご注意.....	2
カメラについて	2
電池について	3
本体充電ACアダプターについて	5
メモリーカードについて	5
お手入れ方法	6
クリーニングについて	6
保管について	6
故障かな?と思ったら.....	7

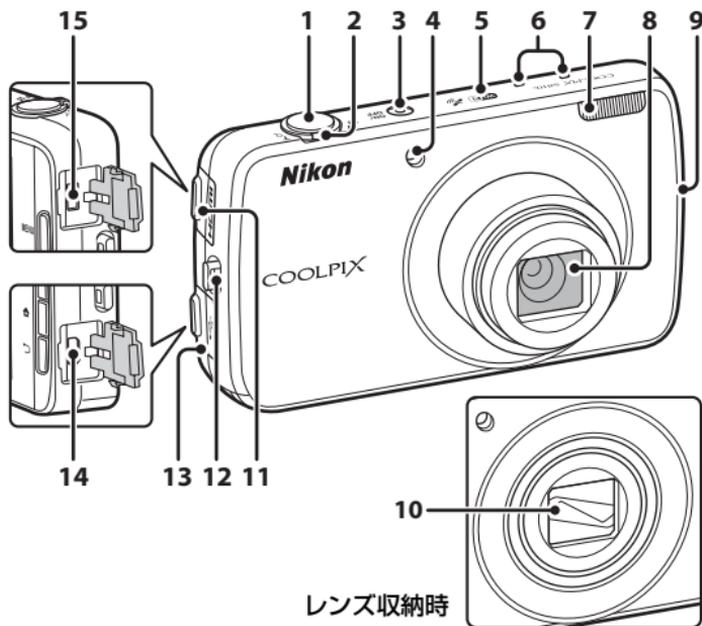
主な仕様.....	☆14
推奨カード.....	☆18
索引.....	☆21
ニコンプラザ、サービスセンターのご案内.....	☆28
アフターサービスについて.....	☆29



A series of horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for handwriting practice.

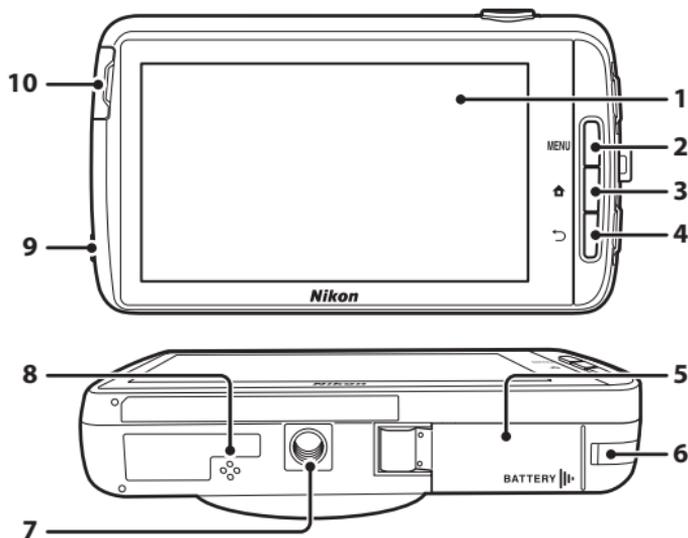
各部の名称

カメラ本体



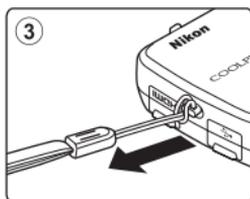
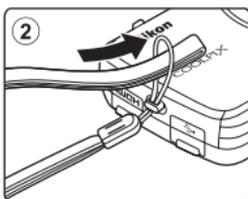
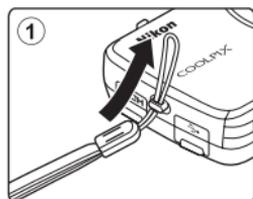
1	シャッターボタン	24
	ズームレバー	23
	W : 広角ズーム	23
2	T : 望遠ズーム	23
	☒ : サムネイル表示	65
	Q : 拡大	64
3	電源スイッチ/電源ランプ	13、18
4	セルフタイマーランプ	49
	AF補助光	77
5	GPSアンテナ部	
6	マイク (ステレオ)	72、85
7	フラッシュ	47

8	レンズ	
9	Wi-Fi (無線LAN) アンテナ部	
10	レンズバリアー	
11	HDMI端子カバー	94
12	ストラップ取り付け部	2
13	USB端子カバー	12、94、97
14	Micro-USB端子	
		12、94、97
15	HDMIマイクロ端子 (Type D)	94



1	液晶モニター/タッチパネル4、6	6	パワーコネクターカバー（別売 ACアダプター接続用）
2	MENU（メニュー）ボタン3、55、70、75、77、82	7	三脚ネジ穴
3	⬆（ホーム）ボタン.....3、79	8	スピーカー.....76
4	⬅（バック）ボタン.....3	9	ヘッドセット端子.....76、93
5	電池カバー.....10	10	カードカバー.....14

ストラップの取り付け方



操作ボタンを使う

このカメラの本体ボタンは、以下のように操作します。

MENU（メニュー）ボタン

- MENU ボタンを押すと、メニューを表示します。
カメラ使用時は、撮影メニュー（撮影時）または再生メニュー（再生時）を表示します。Android OS使用時は、オプションメニューを表示します。
メニューを選ぶには、メニュー項目をタッチします。

🏠（ホーム）ボタン

- 🏠 ボタンを押すと、ホーム画面（📖79）を表示します。
- ホーム画面で 🏠 ボタンを長押し（数秒押したままに）すると、最近使用したアプリケーションの一覧画面を表示します。
- 電源 OFF 時に 🏠 ボタンを長押しすると、ホーム画面で電源を ON にします。

⏪（バック）ボタン

- ⏪ ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- 撮影画面で ⏪ ボタンを押すと、**[もう一度押すと終了します。]** と表示されます。撮影画面に戻るにはシャッターボタンを押します。

電源スイッチの長押しメニューを使う

電源 ON の状態で電源スイッチを数秒押し続けると、以下の項目が選べます。

- [電源を切る]：電源を OFF にします（📖30）。
- [スタンバイ]：カメラを待機状態にします（📖30）。
- [再起動]：カメラを再起動します（📖87）。
- [スクリーンショット]：表示している画面を画像ファイルとして保存します。

タッチパネルの操作方法

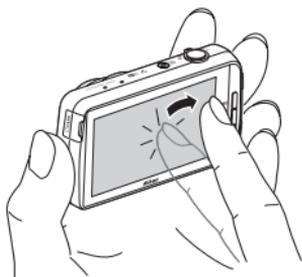
このカメラの液晶モニターは、指で画面に触れて操作するタッチパネルになっています。以下のように画面に触れて操作します。

タッチする

タッチパネルに触れて離す動作です。

以下の操作に使います。

- ・ アイコンを選ぶ
- ・ サムネイル表示中 (□□65) に画像を選ぶ
- ・ タッチ撮影を使う (□□56)

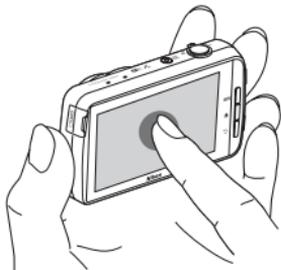


長押しする

項目やアイコンに指を触れた状態を保つ動作です。

以下の操作に使います。

- ・ テキストを編集する (□□84)

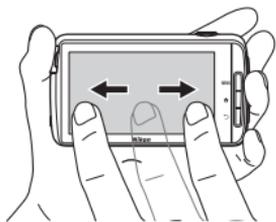


ドラッグする

タッチパネルに触れたまま動かし、離す動作です。

以下の操作に使います。

- ・ 再生中 (1 コマ表示時) (□□26) に前後の画像を表示する
- ・ 画像の拡大表示中 (□□64) に表示範囲を移動する
- ・ 露出補正 (□□52) などのスライダー操作

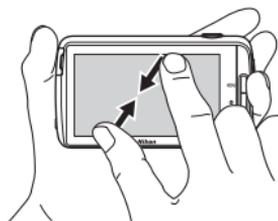
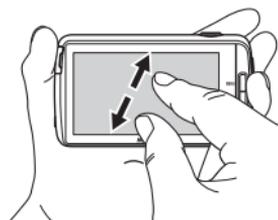


広げる/つまむ

タッチパネルに2本の指を触れたまま、指の間隔を広げたり、つまむように狭めたりする動作です。

以下の操作に使います。

- 再生中に、画像を拡大／縮小する (☞64)
- 再生中 (1 コマ表示時) にサムネイル表示 (☞65) にする

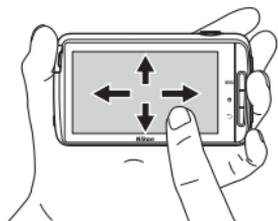


フリックする

画面を指で上下左右に払う動作です。

以下の操作に使います。

- 画面を切り換える (☞81)



✓ タッチパネルについてのご注意

- このカメラのタッチパネルは静電式です。爪でタッチしたり、手袋などはめたままタッチしたりすると反応しないことがあります。
- 先のとがった硬い物で押さないでください。
- タッチパネルを必要以上に強く押したり、こすったりしないでください。
- 市販の保護フィルムを貼ると反応しないことがあります。

✓ タッチパネル操作時のご注意

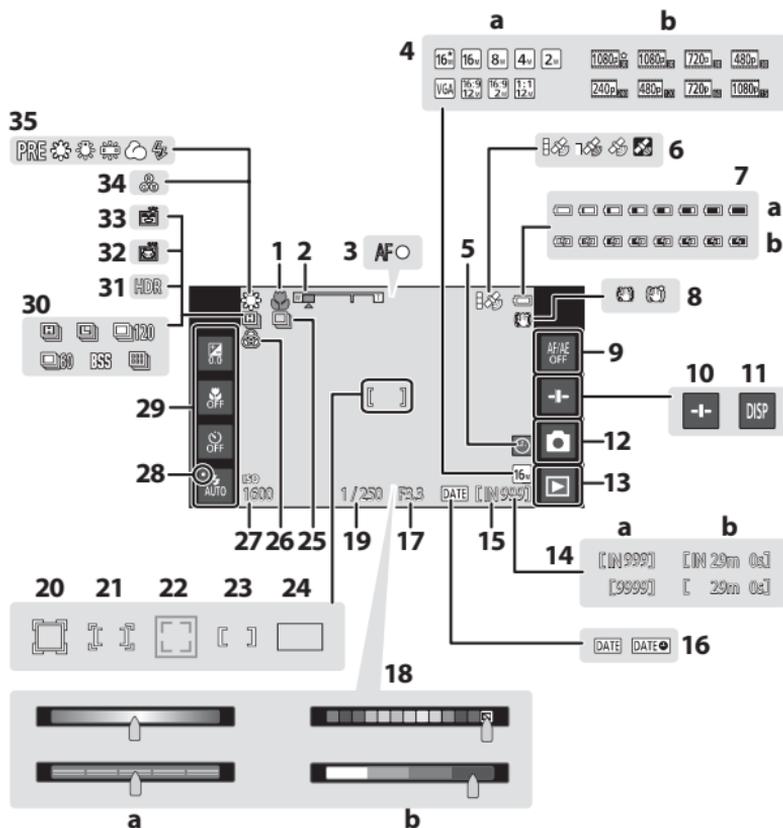
- タッチするときに、指をタッチパネルに触れたままにすると、適切に動作しないことがあります。
- ドラッグするとき/広げるとき/つまむときに、以下の操作をすると、適切に動作しないことがあります。
 - タッチパネルを弾く
 - 指を動かす距離が短すぎる
 - タッチパネルを軽くなできるように指を動かす
 - 指を動かす速度が速すぎる
 - 広げるとき/つまむときに、2本の指のタイミングの差が大きい
- タッチするときに、タッチパネルの他の部分にも何かが触れていると、適切に動作しないことがあります。

液晶モニター / タッチパネルの表示内容

撮影、再生画面に表示される情報は、カメラの設定や状態によって異なります。初期設定では数秒後に消灯します（[モニター設定]（□□77）→ [モニター表示設定] → [情報オート] 時）。

撮影モード

撮影画面で操作アイコンや情報が消灯しているときは、**DISP** をタッチすると再表示します。



1	マクロ領域表示.....	51	18	a クリエイティブスライダー/ シーンエフェクト調整スライダー	36、38
2	ズーム表示.....	23、51		b スペシャルエフェクト調整ス ライダー.....	43
3	AF表示.....	24	19	シャッタースピード.....	25
4	a 画像モード.....	56	20	AFエリア（ターゲット追尾時）	56
	b 動画設定.....	75	21	AFエリア（タッチAF/AE時）	56
5	日時未設定.....	16	22	AFエリア（顔認識時、ペット検 出時）.....	41、61
6	GPS受信状態.....	78	23	AFエリア（中央時）.....	63
7	a 電池残量表示.....	18	24	AFエリア（ターゲットファイン ドAF時）.....	60
	b 充電中.....	13、18	25	連写モード（[ペット] 時、[ベ ストフェイス] 時）.....	41、44
8	手ブレ補正.....	77	26	鮮やかさ調整済み.....	36
9	タッチAF/AE解除.....	56	27	ISO感度表示.....	56
10	スライダー表示.....	36、38、43	28	フラッシュ表示.....	47
11	情報再表示.....	6	29	撮影の基本設定※ ³	47、49、51、52
12	撮影モード※ ¹	20、21	30	連写モード（オート撮影時）	56
13	再生モード（再生モードへの切 り換え）※ ²	26	31	逆光（HDR）.....	40
14	a 記録可能コマ数（静止画）	18	32	ペット自動シャッター.....	41
	b 記録可能時間（動画）.....	72	33	笑顔自動シャッター.....	56
15	内蔵メモリー表示.....	18	34	色合い調整済み.....	36
16	デート写し込み.....	25、77	35	ホワイトバランス.....	56
17	絞り値.....	25			

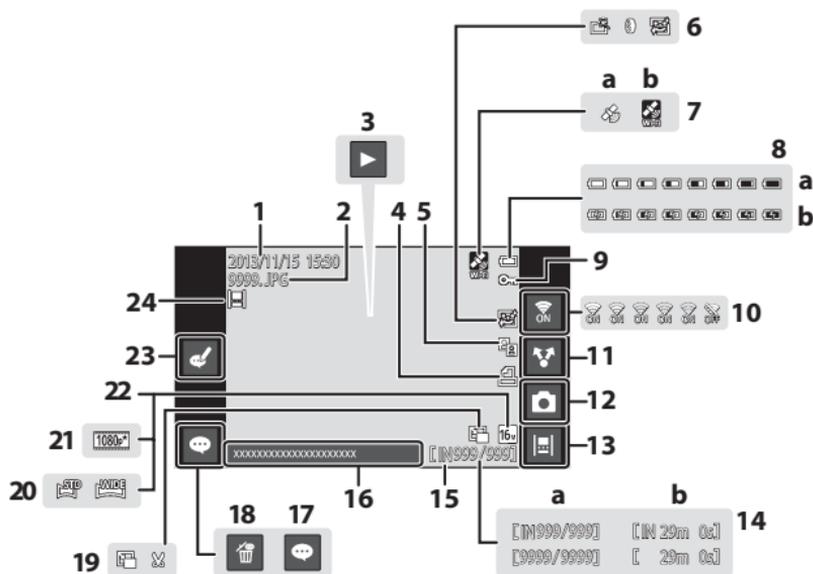
※1 アイコンは、撮影モードによって異なります。

※2 撮影後は撮影した画像のプレビューを表示します。

※3 各アイコンは、現在の設定も示しています。

再生モード

再生画面で操作アイコン以外をタッチすると、[モニター表示設定] (P77) の設定にかかわらず操作アイコンや情報が消灯します。もう一度タッチすると再表示します。



1	撮影日/撮影時刻.....	17	12	撮影モード（撮影モードへの切り換え）※1	26
2	ファイル名		13	タイムラインビュー	66
3	動画再生.....	76	14	a 画像の番号/全画像数	26
	かんたんパノラマ再生.....	40		b 動画の再生時間	76
4	プリント指定	70	15	内蔵メモリー表示	15
5	D-ライティング.....	70	16	コメント表示.....	33
	簡単レタッチ	70	17	コメント追加.....	33
6	フィルター効果	70	18	コメント削除.....	33
	美肌	70	19	スモールピクチャー.....	70
7	位置情報記録済み.....	78		トリミング	64
	a GPS機能使用		20	かんたんパノラマ	40
	b Wi-Fi機能使用		21	動画設定※2	75
8	a 電池残量表示	18	22	画像モード※2	56
	b 充電中	13、18	23	コメント編集.....	33
9	プロテクト設定.....	70	24	タイムライン登録済み	66
10	Wi-FiのON/OFF	27、88			
11	画像の共有	91			

※1 アイコンは、撮影モードによって異なります。

※2 アイコンは、撮影時の設定によって異なります。

液晶モニター表示の回転について

液晶モニターの表示は、カメラの向きに合わせて、以下のように自動的に回転します。

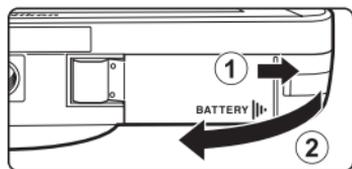
- 動画の撮影/再生時は回転しません。
- 自動で回転しないようにするには、Android OSの設定メニュー（86）の[ディスプレイ] → [画面の自動回転] をタッチして、チェックを外します。



撮影と再生の基本ステップ

準備1 電池を入れる

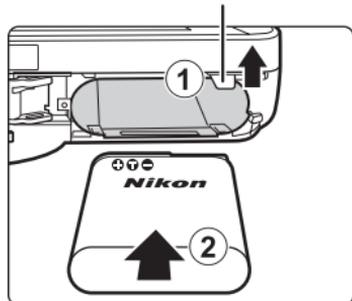
1 電池カバーを開ける



2 電池を入れる

- ・ オレンジ色の電池ロックレバーを矢印の方向に押し上げながら (①)、奥まで差し込みます (②)。
- ・ 正しく入れると、電池が固定されます。

電池ロックレバー

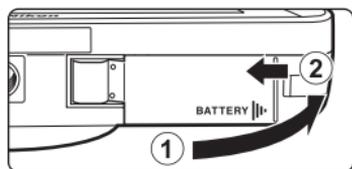


✓ 逆挿入に注意

電池の向きを間違えると、カメラを破損するおそれがあります。



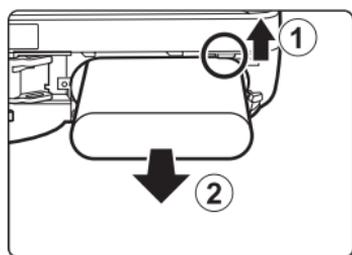
3 電池カバーを閉じる



電池を取り出すときは

電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、電池カバーを開けます。

電池ロックレバーを矢印の方向に動かすと①、電池が押し出されます②。

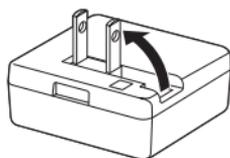


高温注意

カメラを使った直後は、カメラや電池、カードが熱くなっていることがあります。

準備2 電池を充電する

- 1 付属の本体充電 AC アダプターを用意する

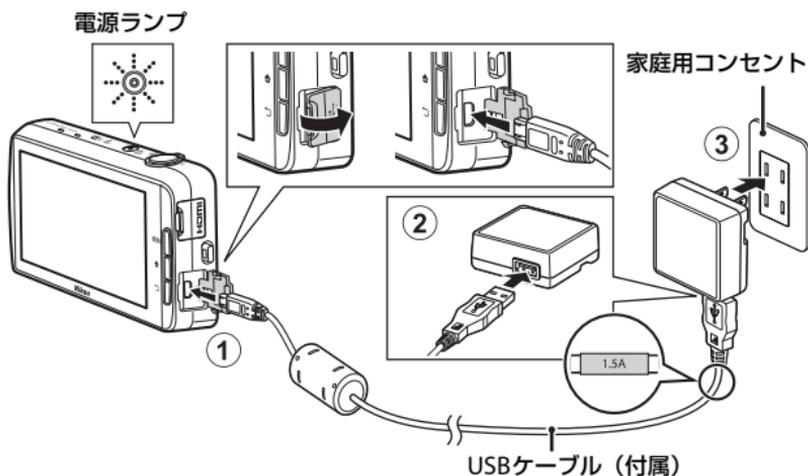


- 2 電池を入れたカメラと本体充電 AC アダプターを①～③の順に接続する

- プラグの向きを確認して、まっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐに引き抜いてください。

☑️ ご注意

UC-E21以外のUSBケーブルは絶対に使わないでください。発熱、火災、感電の原因になります。



- ・電源ランプがオレンジ色でゆっくり点滅し、充電が始まります。

電源ランプ	意味
点灯・ゆっくり点滅 (オレンジ色)	充電中です。
消灯	ゆっくりした点滅(オレンジ色)から消灯になると、充電の完了です。残量がない電池の場合、フル充電までの時間は約3時間45分です。
速い点滅(オレンジ色)	<ul style="list-style-type: none"> ・使用可能な温度ではありません。周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。 ・USBケーブルまたは本体充電ACアダプターが正しく接続されていないか、電池の異常です。正しく接続し直すか、電池を交換してください。

3 コンセントから本体充電ACアダプターを外し、USBケーブルを外す

充電についてのご注意

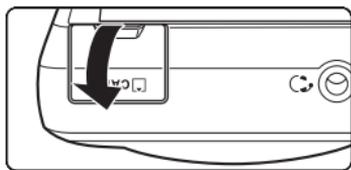
- ・充電中はカメラを操作できますが、充電時間が長くなります。
- ・電池残量が極端に少ないときは、充電中でもカメラを操作できない場合があります。
- ・電池がカメラに挿入されていない場合は、充電やカメラの操作はできません。
- ・EH-71P以外の本体充電ACアダプター、市販のUSB-ACアダプター、携帯電話用充電器は絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。

パソコンや充電器で充電する

- ・このカメラをパソコンに接続しても、電池を充電できます。ただし、USBストレージをONに設定している間は、カメラの操作が制限されます(□95)。
- ・別売のバッテリーチャージャーMH-67Pを使うと、カメラを使わずに電池を充電できます。

準備3 カードを入れる

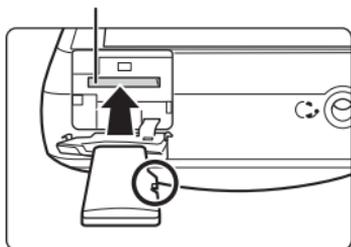
- 1 電源をOFFにして、カードカバーを開ける



- 2 カードを入れる

- ・ カチッと音がするまで差し込みます。

カードスロット

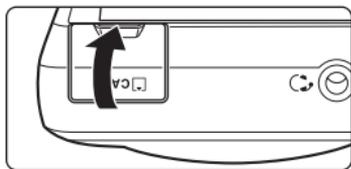


- ✔ 逆挿入に注意

カードの向きを間違えると、カメラやカードを破損するおそれがあります。



- 3 カードカバーを閉じる



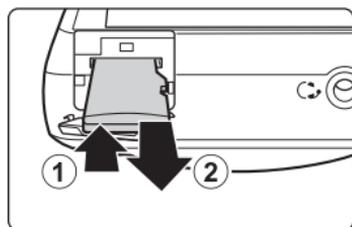
- ✔ カードの初期化について

他の機器で使ったカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。カードをカメラに入れ、Android OSの設定メニュー(□86)の[ストレージ] → [SDカード内データを消去] を選びます。

カードを取り出すときは

電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、カードカバーを開けます。

カードを指で軽く押し込むと (①)、カードが押し出されます (②)。



✓ 高温注意

カメラを使った直後は、カメラや電池、カードが熱くなっていることがあります。

内蔵メモリーとカードについて

撮影したデータは、カメラの内蔵メモリーまたはカードのどちらかに記録されます。内蔵メモリーを使うときはカードを取り出してください。

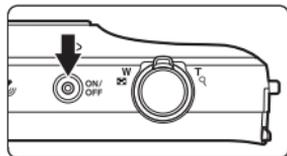
準備4 各種設定をする

ご購入後はじめて電源をONにすると、「ようこそ」画面が表示されます。画面の指示に従って、各項目を設定してください。

- 文字を入力する設定があります。あらかじめキーボードの使い方をご覧ください(□83)。
- Wi-Fi(無線LAN)を設定するには、Wi-Fi接続できる環境が必要です。あらかじめ環境を準備し、「SSID」と「パスワード」を調べておいてください。
- 各項目は後で設定することもできます。

1 電源スイッチを押して、電源をONにする

- 液晶モニターが点灯し、「ようこそ」画面が表示されます。



2 言語を選択する

- 言語を上下にドラッグして選び、[開始]をタッチします。

3 Wi-Fi(無線LAN)を設定する

- 利用可能なSSID(無線ネットワーク名)が画面に表示されるので、接続するSSIDをタッチして選び、パスワードを入力したら[接続]をタッチします。
- 後で設定するときは[スキップ]をタッチします。
- Wi-Fi接続できると、「Google™アカウント」を設定できます。画面の指示に従って設定してください。

4 日時設定などの各項目を設定する

- 画面の指示に従って設定してください。
- 画面下部に◀▶が表示されたときは、▶で次の画面を、◀で前の画面を表示します。
- 設定が完了すると、Android OSのホーム画面になります。撮影するには、📷(撮影)をタッチして撮影アプリケーションを起動してください。→「主なアプリケーションを起動する」(□80)
- 日時未設定のまま、日時の設定画面を終了すると、撮影画面で🌙が点滅します。撮影前に設定することをおすすめします(□17)。

日付と時刻の設定

🏠 ボタンを押す → ⚙️ 設定 → 日付と時刻

Android OSの設定メニュー（📖86）で、日時に関する設定ができます。

項目	内容
日付設定	内蔵時計の日付（年、月、日）を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 各項目を、それぞれ上下にドラッグして設定し、[完了]をタッチします。
時刻設定	内蔵時計の時刻を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 各項目を、それぞれ上下にドラッグして設定し、[完了]をタッチします。
タイムゾーンの選択	自宅のある地域（タイムゾーン）を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> 時刻を設定した後にタイムゾーンを変更すると、時刻も変更されます。
24時間表示	24時間表示または12時間表示を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 24時間表示にするときは、タッチしてチェックを付けてください。 カメラの再生画面など、一部の時刻表示は設定にかかわらず24時間表示です。
日付形式の選択	日付の表示順を設定します。

✏️ 未設定項目を後で設定するには

- 言語を設定する → 📖87
- Wi-Fi（無線LAN）を設定する → 📖88
- Googleアカウントを設定する → 📖90
- 日付と時刻を設定する → 📖17
- 位置情報に関する設定をする → 📖86

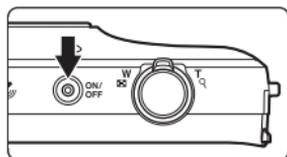
✏️ 時計用電池について

- カメラの時計は、内蔵のバックアップ用電池で動いています。バックアップ用電池は、カメラに電池を入れるかACアダプター（別売）を接続すると、約10時間で充電され、時計を数日間動かします。
- バックアップ用電池が切れたときは、電源をONにすると、「ようこそ」画面が表示されます。画面の指示に従って再設定してください。→「準備4 各種設定をする」（📖16）

ステップ1 電源をONにする

1 電源スイッチを押す

- ・液晶モニターが点灯し、撮影画面になります。すぐに撮影できます (□19)。
- ・手順2に進むには、再生モードアイコンが表示されるまでお待ちください (□19)。
- ・電源をOFFにするには、「ステップ7 電源をOFFにする」(□30) をご覧ください。



2 電池残量表示と記録可能コマ数を確認する



電池残量表示

表示	意味
	電池残量があります。
	電池残量が少なくなりました。電池残量表示は、残量によって6段階で表示されます。
	充電中です。
	撮影できません。 充電してください。
電池残量がありません	

記録可能コマ数

撮影できるコマ数が表示されます。

- ・カードをカメラに入れていないときは、「IN」が表示され、画像を内蔵メモリーに記録します。

電源をONにしてすぐの撮影について

電源がONになり液晶モニターが点灯すると、以下のように撮影画面が切り換わります。



液晶モニター点灯直後



再生モードアイコン

- 液晶モニターが点灯した直後の画面でも撮影できます。
- 再生モードアイコンが表示されるまでは、設定や撮影枚数に制限がありません。

ステップ2 撮影モードを選ぶ

- 1 撮影モードアイコンをタッチする



- 2 アイコンをタッチして撮影モードを選ぶ

- ここでは、 (オート撮影) モードを例に説明します。
- 選んだ撮影モードは、電源をOFFにしても記憶されます。



撮影モードの種類

らくらくオート撮影 📖34

構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的に判別し、簡単にシーンに合った設定で撮影ができます。

オート撮影 📖35

基本的な撮影ができます。また、撮影状況や撮影意図に合わせて設定を変更できます。

シーン 📖37

撮影シーンを選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影できます。

スペシャルエフェクト 📖42

画像に効果を付けて撮影できます。

ベストフェイス 📖44

カメラが人物の笑顔を検出すると、シャッターボタンを押さなくても自動でシャッターがきれます（笑顔自動シャッター）。美肌機能で人物の肌（顔）をなめらかにできます。

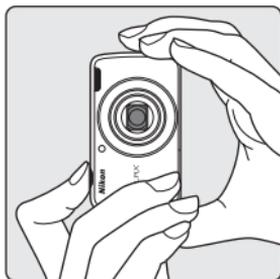
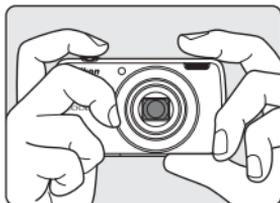
動画 📖72

動画（音声付き）を撮影できます。

ステップ3 カメラを構え、構図を決める

1 カメラをしっかりと構える

- レンズやフラッシュ、AF補助光、マイク、スピーカーなどに、指などがかからないようにご注意ください。
- 縦位置で撮影するときは、フラッシュの位置をレンズよりも上にしてください。



2 構図を決める



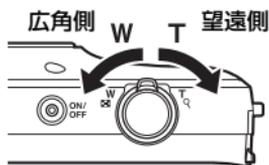
三脚の使用について

- 以下の場合などは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
 - 暗い場所で撮影するとき
 - フラッシュモード (□48) を (ⓧ) (発光禁止) にして撮影するとき
 - 望遠側で撮影するとき
- 三脚などで固定して撮影するときは、補正機能の誤動作を防ぐためセットアップメニュー (□77) の [手ブレ補正] を [しない] にしてください。

ズームを使う

ズームレバーを動かすと、ズーム位置が変わります。

- 被写体を大きく写す：**T**（望遠）側
- 広い範囲を写す：**W**（広角）側
電源をONにしたときは、最も広角側になっています。
- ズームレバーを動かすと、液晶モニターの画面上部にズームの量が表示されます。
- 光学ズームの最大倍率でズームレバーを **T** 側に動かすと、電子ズームが作動し、さらに約4倍まで拡大できます。



電子ズームについて

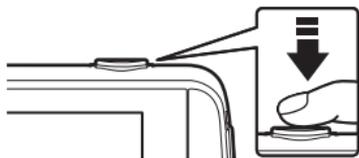
電子ズームが作動するとズーム表示が青色に変わり、さらに倍率を上げると黄色に変わります。

- ズーム表示が青色の時：ダイナミックファインズームにより、電子ズームによる画質の劣化が抑えられます。
- ズーム表示が黄色の時：画質の劣化が目立つことがあります。
- 青色の領域は、画像サイズが小さいほど広くなります。

ステップ4 ピントを合わせ、シャッターをきる

1 シャッターボタンを半押しする

- ピントが合うと、「AF エリア表示」が緑色に点灯します（複数のエリアが点灯することがあります）。
- 電子ズーム使用時は、AF エリアは表示されず、画面中央でピントが合います。ピントが合うとAF表示（□6）が緑色に点灯します。
- AF エリアまたは AF 表示が赤色に点滅したときはピントが合っていません。構図を変えて半押しをやり直してください。



2 半押ししたまま、シャッターボタンを全押しして撮影する



3 撮影した画像にコメントを付けるときは、☑️をタッチする

- コメントを入力する画面が表示されます。→「画像にコメントを付ける」（□32）
- シャッターボタンを押すか、無操作で約5秒経過すると撮影画面に戻ります。



シャッターボタンの半押しと全押し

<p>半押し</p> 	<p>シャッターボタンを軽く抵抗を感じるころまで押して、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。 半押しするとピントと露出(シャッタースピードと絞り値)が合います。半押しを続けている間、ピントと露出を固定します。</p>
<p>全押し</p> 	<p>シャッターボタンを深く押し込む(全押しする)と、シャッターがきれます。 シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる(手ブレする)ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。</p>

✓ 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。電池カバーやカードカバーを開けたり、電池やカードを取り出したりしないでください。撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやカードが壊れることがあります。

📎 タッチ撮影について

タッチ撮影で、ピントが合うエリアを変えられます。初期設定では、シャッターボタンを使わずに、画面上の被写体にタッチするだけでシャッターをきるができます(☞56)。

📎 モーション検知について

📷(らくらくオート撮影)モードや📷(オート撮影)モードなどでは、カメラが被写体の動きや手ブレを検知すると、ブレを軽減するためにISO感度が上がり、シャッタースピードが速くなります。このようなときは、シャッタースピード表示が緑色に変わります。

📎 撮影日入りの画像をプリントするには

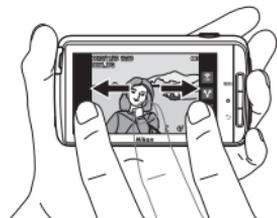
- セットアップメニュー(☞77)で[デート写し込み]を設定すると、撮影時に、画像に日付を写し込みます。
- [デート写し込み]を設定しないで撮影した画像は、ソフトウェア「ViewNX 2」(☞96)を使うと、日付を入れてプリントできます。

ステップ5 画像を再生する

- 1 再生モードアイコンをタッチする



- 2 画像をドラッグして前後の画像を表示する



- 撮影に戻るには、画面右下の撮影モードアイコン (📷) をタッチするか、シャッターボタンを押します。



📎 コメントを見るには

- コメントを付けた画像は、画面下にコメントの一部が表示されます (📖24)。
- コメントの領域をタッチすると、コメントの全文が表示されます。
- 詳しくは「画像にコメントを付ける」(📖32)をご覧ください。
- ViewNX 2を使うと、画像とコメントをパソコンに転送して閲覧できます (📖97)。



📎 再生画面の操作アイコンについて

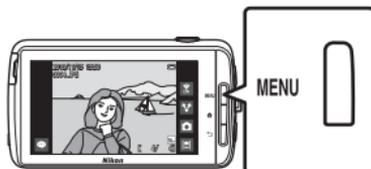
画面のアイコンをタッチすると、以下の機能が使えます。



機能	内容
1 🗨️ (コメント追加)	表示中の画像にコメントを付けます (📖33)。
2 📶 (Wi-FiのON/OFF)	タッチするだけで、Wi-Fi (無線LAN) 機能のON/OFFを切り換えます。はじめて無線ネットワークに接続するときは、Wi-Fiの設定が必要です (📖88)。
3 📲 (画像の共有)	表示中の画像を他のアプリケーションと共有します (📖91)。
4 🖼️ (タイムラインビュー)	タイムラインビューで画像を表示します (📖66)。

ステップ6 画像を削除する

- 1 削除したい画像を表示して
MENU ボタンを押す



- 2 𠂆をタッチする



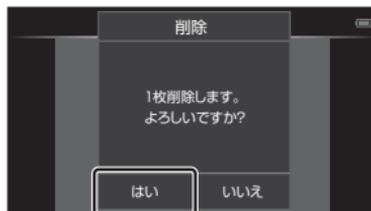
- 3 削除方法をタッチする

- サムネイル表示 (📄65) にして手順1～2の操作をした場合は、**[削除画像選択]** または **[全画像]** から選びます。



- 4 **[はい]** をタッチする

- 削除した画像は、元に戻せません。
- 削除をやめるときは、**[いいえ]** をタッチします。



削除画像選択画面の操作方法

1 画像をタッチして✓を付ける

- ・ 選択を解除するには、もう一度画像をタッチして✓を外します。
- ・ 液晶モニターを上下にドラッグすると、画面がスクロールします。
- ・ サムネイル表示 (□65) と同様に、ズームレバーまたはタッチ操作で画面に表示するコマ数を切り換えられます。



2 削除したい画像すべてに✓を付け、OKをタッチして選択を決定する

- ・ 確認画面が表示されます。画面の表示に従って操作してください。

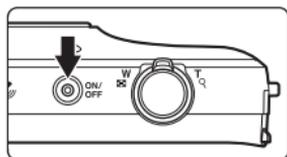
✓ 画像削除についてのご注意

- ・ 処理の実行中に **⏏** ボタンを押すと、処理を中止して Android OS のホーム画面が表示されます。メッセージが消灯するまで、操作をしないでください。
- ・ タイムラインに登録した画像は削除できません (□66)。削除するには登録を解除してください。

ステップ7 電源をOFFにする

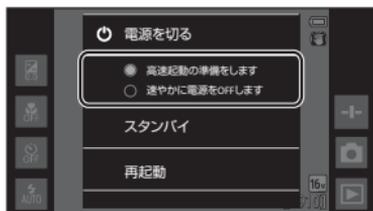
1 電源スイッチを数秒押し続ける

- 液晶モニターが消灯しているときは、カメラが節電の状態になっています (□31)。電源スイッチを押して液晶モニターを点灯してから、操作してください。
- 電源スイッチを短く押したときは、スタンバイモード (□31) になり液晶モニターが消灯します。



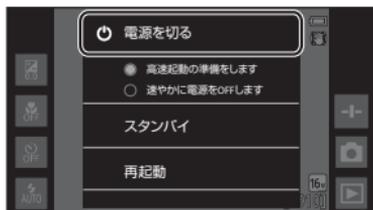
2 電源を切る方法を選ぶ

- 〔高速起動の準備をします〕(初期設定)：電源を切る直前の状態を保存してから電源を切ります。次に電源をONにするときに、速やかに起動します。
- 〔速やかに電源をOFFします〕：直ちに電源を切ります。



3 [電源を切る] をタッチする

- 手順2で選んだ方法で電源がOFFになります。
- この画面で〔スタンバイ〕をタッチすると、スタンバイモードになります。



✓ スタンバイモードおよび電源OFF時のご注意

- 電源がOFFになると未保存のデータは失われます。スタンバイモードに入る前や電源OFFする前に、必ず保存してください。
- USBストレージをONに設定しているときは、スタンバイモードおよび電源OFFにできません (□95)。

節電機能について

このカメラは消費電力を抑えるため、初期設定では自動で以下の状態に移行します。

状態	節電効果	機能
画面オフ	中	電源ONで操作しない状態が続くと、自動で液晶モニターが消え、電力消費を抑えます※ ¹ 。このとき電源ランプが緑色に点灯します※ ² 。 <ul style="list-style-type: none"> 復帰するには、電源スイッチ、MENU ボタン、 ボタン、または  ボタンを押します。 操作しない状態が約1分間続くと、「スタンバイモード」になります※³。
スタンバイモード	大	各機能を待機状態にして、大幅に電力消費を抑えます。このとき電源ランプが緑色に点滅します※ ² 。 <ul style="list-style-type: none"> 復帰するには、電源スイッチを押します。 操作しない状態が続くと「電源 OFF」になります（シャットダウンタイマー※⁴）。
電源OFF	最大	ほとんど電力を消費しませんが、電源ONに時間がかかります。

※1 画面オフになるまでの時間を変更できます（[□□86](#)）。初期設定は1分です。

※2 充電中はオレンジ色に変わります（[□□13](#)）。

※3 USBストレージをONに設定しているときは、スタンバイモードになりません（[□□95](#)）。

※4 電源OFFになるまでの時間を変更できます（[□□86](#)）。初期設定は1時間です。ただし、充電中は電源OFFになりません。

節電のヒント

使っていない機能はOFFにしておくと電力消費を抑えられます。

Android OSのホーム画面でクイック設定を表示すると、画面の明るさ調節や、Wi-Fi機能のON/OFFなどが手軽に行えます（[□□81](#)）。

画像にコメントを付ける

撮影時にコメントを付ける

シャッターをきったすぐ後に、撮影時に感じたことやメモを「コメント」として保存できます（連写時を除く）。

1 静止画を撮影した後に表示される画面で、をタッチする

- シャッターボタンを押すか、無操作で約5秒経過すると撮影画面に戻ります。
- セットアップメニュー（) [モニター設定] の [撮影後の画像表示] を [する (コメント)] 以外にすると、右の画面を表示しないようにできます。



2 キーボードを使って、文字を入力する

- 音声による入力もできます。
- キーボードの使い方および音声入力については「文字を入力する」()をご覧ください。



入力文字数/最大文字数

3 文字の入力が終わったら、画面左上のをタッチする

- コメントを保存して、撮影画面に戻ります。



人物を撮影したときのご注意

目づばりを検出したときは、撮影時にコメントを付けられません（)。画像を再生してコメントを付けてください。

再生時にコメントを付ける

再生画面で  をタッチすると、「撮影時にコメントを付ける」(□32) の手順2の画面が表示されます。撮影時と同じ手順でコメントを付けます。



コメントを見る/編集する

撮影時や再生時に付けたコメントを見たり、編集したりできます。

1 1コマ表示で、コメント付きの画像を再生する

- ・コメントが付いた画像は、画面下にコメントの一部が表示されます。

2 コメントの領域をタッチする

- ・コメントの全文が画面に表示されます。画面内に収まらないときは、コメントの領域を上下にドラッグすると、隠れた文字を表示できます。
- ・もう一度コメントの領域（または領域の上部▼）をタッチすると、元の状態に戻ります。



3 または をタッチして、コメントを編集または削除する

- ・ (編集)：コメントを付けたときと同様に、文字を入力し、 をタッチしたら、確認画面で [はい] をタッチします (□32)。
- ・ (削除)：確認画面で [はい] をタッチします。コメントだけが削除されます。



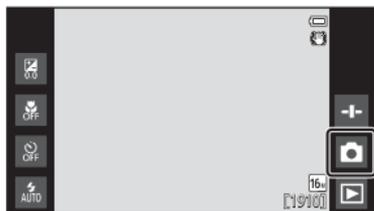
コメント入力時のご注意

入力したコメントは  をタッチするまで保存されません。保存前にシャッターボタン、 ボタンまたは  ボタンを押すとコメントは破棄されますのでご注意ください。再生時の入力中に  ボタンを押したときは、再生アプリケーションを選び直すとして入力画面に戻れます。

いろいろな撮影

📷 (らくらくオート撮影) モード

構図を決めるだけでカメラが以下の撮影シーンを自動的に判別し、簡単にシーンに合った設定で撮影ができます。

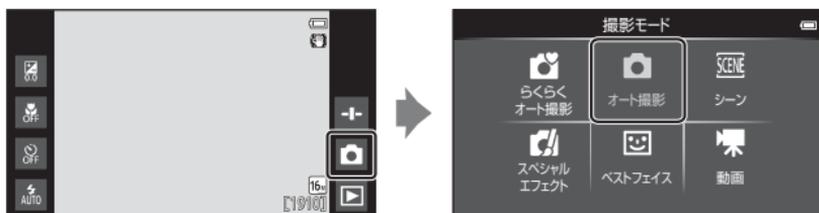


- 📷: ポートレート
- 🌄: 風景
- 🌃: 夜景ポートレート
- 🌃: 夜景
- 📷: クローズアップ
- 📷: 逆光
- 📷: その他の撮影シーン

- ピント合わせをするエリアは、自動判別した撮影シーンによって異なります。人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（顔認識撮影について→📖61）。
- タッチ撮影で、ピントが合うエリアを変えられます（📖56）。
- 撮影状況によっては、意図したシーンに切り換わらないことがあります。その場合は、他の撮影モードに切り換えて撮影してください。
- 電子ズーム使用時は、撮影シーンの判別は📷になります。

📷 (オート撮影) モード

基本的な撮影ができます。また、撮影状況や撮影意図に合わせて設定を変更できます。



- ピント合わせをするエリアは、[AF エリア選択] (📖56) の設定によって異なります。初期設定は、[ターゲットファインドAF] (📖60) です。
- タッチ撮影で、ピントが合うエリアを変えられます (📖56)。ピントを合わせるAFエリアが被写体を追尾する [ターゲット追尾] も設定できます。

📷 (オート撮影) モードで設定できる機能

- クリエイティブスライダー (📖36)
- フラッシュモード (📖47)
- セルフタイマー (📖49)
- マクロ (📖51)
- 露出補正 (📖52)
- 撮影メニュー (📖55)

クリエイティブスライダーの調整

📷 (オート撮影) モードでは、**+** をタッチするとクリエイティブスライダーが表示されます。

- クリエイティブスライダーをタッチまたはドラッグして、鮮やかさを調整します。
 - **👤** をタッチすると、鮮やかさの調整画面に切り換わります。調整後は撮影画面に **👤** が表示されます (📖7)。
 - **👤** をタッチすると、色合いの調整画面に切り換わります。調整後は撮影画面に **👤** が表示されます (📖7)。色合いを調整するとホワイトバランスが変更され、撮影メニューの [ホワイトバランス] (📖56) は設定できなくなります。
- **ALL RESET** をタッチすると、すべての調整値をキャンセルし、鮮やかさの調整画面に切り換わります。
- 調整が終わったら **+** をタッチして、クリエイティブスライダーを非表示にしてください。

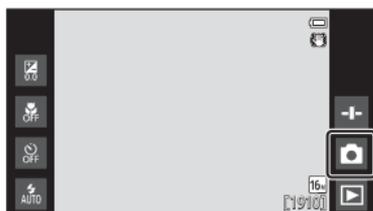
スライダー表示



クリエイティブスライダー

シーンモード(シーンに合わせて撮影する)

撮影シーンを選べると、そのシーンに適した設定で撮影ができます。



- シーンを選ぶには、左の画面で設定したいシーンのアイコンをタッチします。
- 画面を左右にフリックすると、前後の項目を表示します。

👤 ポートレート	🏞️ 風景※1
🏃 スポーツ (📷39) ※2, 3	🌃 夜景ポートレート (📷39) ※4
🎉 パーティー (📷39) ※2, 3	🏖️ ビーチ※2, 3
❄️ 雪※2, 3	🌅 夕焼け※2, 4
🌆 トワイライト※1, 4	🌃 夜景※1, 4
👁️ クローズアップ (📷39) ※2, 3	🍴 料理 (📷39) ※2, 3
🎆 打ち上げ花火 (📷39) ※1, 4	📄 モノクロコピー (📷39) ※2, 3
🌑 逆光 (📷40) ※2, 3	🏠 かんたんパノラマ (📷40) ※2
🐾 ペット (📷41)	

※1 ピントは遠景に合います。

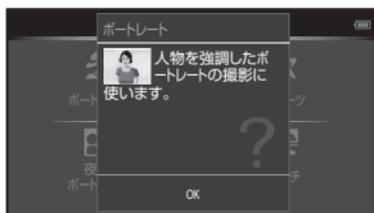
※2 ピントは画面中央のエリアで合わせます。

※3 タッチ撮影で、ピントが合うエリアを変えられます (📷56)。

※4 シャッタースピードが遅くなるため、三脚などの使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー (📷77) の [手ブレ補正] を [しない] にしてください。

各シーンの説明を見るには（ヘルプ表示）

シーンを選ぶ画面で「？」をタッチすると、[ヘルプ選択] 画面になります。シーンのアイコンをタッチすると、各シーンの説明を表示できます。元の画面に戻るには、[OK] をタッチするか、☑ボタンを押します。



シーンエフェクトの調整

以下のシーンモードでは、☒をタッチするとシーンエフェクト調整スライダーが表示されます。

- シーンエフェクト調整スライダーをタッチまたはドラッグして、シーンの効果を調整します。
- 調整が終わったら、☒をタッチしてシーンエフェクト調整スライダーを非表示にしてください。

スライダー表示



シーンエフェクト調整スライダー

🍴料理	<p>青く 赤く</p>
🌄風景、📷クローズアップ	<p>鮮やかさを減らす 鮮やかさを増す</p>
🌅夕焼け、🌃トワイライト	<p>青味強く 赤味強く</p>

シーンエフェクトの調整は電源をOFFにしても記憶されます。

ヒントとご注意

📷 スポーツ

- シャッターボタンを全押ししている間、約 8 コマ / 秒の速さで約 3 コマまで連写できます（画像モードが **16M** のとき）。
- 画像モード、カードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。
- 連写した画像のピント、露出および色合いは、1 コマ目と同じ条件に固定されます。
- タッチシャッター（☐56）で撮影すると、1 コマずつの撮影になります。

🌃 夜景ポートレート

- フラッシュが常に発光します。

🎉 パーティー

- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（☐77）の **[手ブレ補正]** を **[しない]** にしてください。

🔍 クローズアップ

- マクロモード（☐51）が ON になり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。

🍴 料理

- マクロモード（☐51）が ON になり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。

🎆 打ち上げ花火

- シャッタースピードは、4 秒に固定されます。
- 使用できるズーム位置は、4カ所に限定されます。

🖼️ モノクロコピー

- 近くのを撮影するときは、マクロモード（☐51）を併用してください。

☒ 逆光

- MENU ボタンを押して HDR [HDR] をタッチすると、撮影シーンに合わせて、HDR（ハイダイナミックレンジ）合成の ON/OFF を設定できます。
- OFF [しない]（初期設定）：人物が陰にならないように、フラッシュを発光します。
 - シャッターボタンを全押しすると、1 コマ撮影します。
- ON [する]：明暗差の大きい風景撮影に適しています。
 - シャッターボタンを全押しすると、高速で連写し、以下の 2 コマを記録します。
 - HDR 合成していない画像
 - HDR 合成した画像（白とびや黒つぶれを抑えた画像）
 - 記録可能コマ数が 1 コマの場合は、撮影時に D-ライティング（☐70）で暗い部分を明るく補正し、1 コマ記録します。
 - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源を OFF にしないでください。
 - 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。

☒ かんたんパノラマ

- MENU ボタンを押して ☒ [かんたんパノラマ] をタッチすると、撮影する範囲を  [標準(180°)]（初期設定）、または  [ワイド(360°)] から選べます。
- ズーム位置は広角側に固定されます。
- シャッターボタンを全押しして指を離し、続けて、水平方向にカメラをゆっくり動かします。設定の範囲を撮影し終わると撮影が終了します。
- ピントと露出は、撮影開始時に固定されます。
- 撮影した画像は、1 コマ再生して  をタッチすると、スクロールして再生します。
- このカメラでは画像編集はできません。

☑ パノラマ写真をプリントするときの注意

プリンターの設定によっては、全景をプリントできないことがあります。また、プリンターによっては、プリントできないことがあります。

🐾 ペット

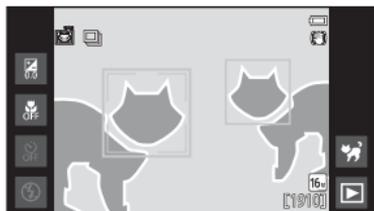
- 犬または猫にカメラを向けると、顔を検出してピントを合わせます。初期設定では、ピントが合うと自動でシャッターがきれます（ペット自動シャッター）。
- MENU ボタンを押して  [連写] をタッチすると、[単写] または [連写] を選べます。
 -  [単写]：検出した顔にピントが合うたびに、1 コマ撮影します。
 -  [連写]（初期設定）：検出した顔にピントが合うたびに、3 コマ連写します。

✔ ペット自動シャッターについて

- MENU ボタンを押して  [ペット自動シャッター] をタッチすると、設定を変更できます。
 - ON [する]（初期設定）：犬または猫の顔を検出し、ピントが合うと自動でシャッターがきれます。
 - OFF [しない]：犬または猫の顔を検出しても、自動でシャッターはきれません。シャッターボタンを押してください。[しない] のときは、人物の顔も認識します。
- [ペット自動シャッター] は、連写で5回繰り返すと [しない] になります。
- [ペット自動シャッター] の設定にかかわらず、シャッターボタンを押しても撮影できます。[連写] 設定時は、シャッターボタンを全押ししている間、連写できます。

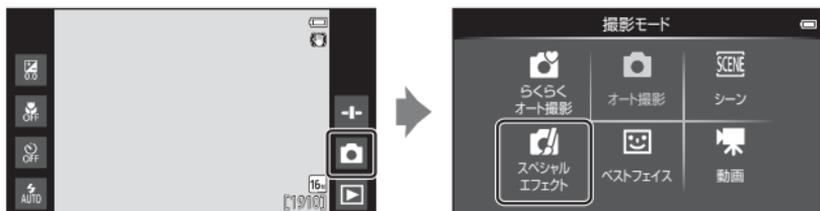
✔ AFエリアについて

- 検出した顔は、黄色い枠で囲まれます。二重枠のAF エリア表示で囲まれた顔にピントが合うと、表示が緑色に変わります。顔を検出していないときは、ピントは画面中央の被写体で合わせます。
- 撮影条件によっては、顔を検出しないことや、犬や猫以外に枠が表示されることがあります。



スペシャルエフェクトモード（効果を付けて撮影する）

画像に効果を付けて撮影できます。

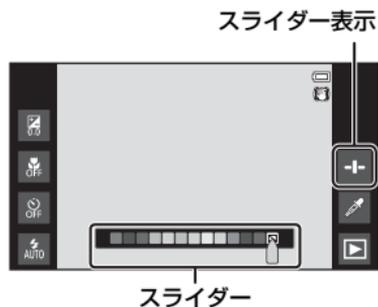


- 効果を選ぶには、左の画面で設定したい効果のアイコンをタッチし、OKをタッチします。
- 画面を左右にフリックすると、前後の項目を表示します。

種類	内容
SOFT ソフト (初期設定)	やわらかな雰囲気にするために、画像全体を少しぼかします。
SEPIA ノスタルジックセピア	セピア色でコントラストが低めの、昔の写真のような雰囲気にします。
硬調モノクローム	コントラストがはっきりした調子の白黒写真にします。
HI ハイキー	画像全体を明るいトーンで表現します。
LO ローキー	画像全体を暗いトーンで表現します。
セレクトカラー	画像の特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。
クロスプロセス	特定の色を基調にして、不思議な雰囲気を表現します。
POP ポップ	画像全体の色を鮮やかにし、明るい雰囲気にします。
VI 極彩色	画像全体の色を強調し、コントラストがはっきりした写真にします。

📷1 トイカメラ風 1	画像全体を黄色がかかった色合いにし、さらに周囲を暗めに表現します。
📷2 トイカメラ風 2	画像全体の色を薄くし、さらに周囲を暗めに表現します。

- 9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。
- タッチ撮影で、ピントが合うエリアを変えられます (📖56)。
- [セレクトカラー] または [クロスプロセス] を選んだときは、スライダーをタッチまたはドラッグして色を選びます。
スライダーを表示または非表示にするには、**+** をタッチします。



ベストフェイスモード（笑顔を撮影する）

カメラが人物の笑顔を検出すると、シャッターボタンを押さなくても自動でシャッターがきれます（笑顔自動シャッター（□56））。美肌機能で人物の肌（顔）をなめらかにできます。



1 構図を決める

- ・ 人物の顔にカメラを向けてください。

2 シャッターボタンを押さずに笑顔を待つ

- ・ カメラが二重枠で囲まれた人物の笑顔を検出すると、自動的にシャッターがきれます。
- ・ 笑顔を検出するたびに自動撮影を繰り返します。

3 自動撮影を終了する

- ・ 以下のいずれかの操作で終了します。
 - [笑顔自動シャッター] を [しない] にする
 - 撮影モードアイコンをタッチして、他の撮影モードに切り換える

✓ ベストフェイスモードについてのご注意

撮影条件などによっては、適切に顔認識や笑顔検出ができないことがあります（□61）。シャッターボタンを押しても撮影できます。

📎 セルフタイマーランプについて

笑顔自動シャッターでは、カメラが顔を認識すると点滅し、シャッターがきれた直後は速く点滅します。

ベストフェイスモードで設定できる機能

- フラッシュモード (P47)
- セルフタイマー (P49)
- 露出補正 (P52)
- ベストフェイスメニュー (P55)

撮影の基本設定

撮影時に液晶モニター左のアイコンをタッチすると、撮影モードによって以下の機能を設定できます。アイコンが非表示のときは「DISP」をタッチします。



			SCENE			
1 フラッシュモード (P47)	○	○	※	○	○※	×
2 セルフタイマー (P49)	○	○		○	○※	○
3 マクロモード (P51)	×	○		○	×	○
4 露出補正 (P52)	○	○		○	○	○

※ 設定によって異なります。

フラッシュを使う

フラッシュの発光モード（フラッシュモード）を撮影状況に合わせて設定できます。

- 1 フラッシュモードアイコンをタッチする



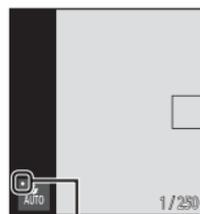
- 2 アイコンをタッチしてフラッシュモード（[48](#)）を選ぶ



✓ フラッシュ表示について

シャッターボタンを半押しすると、フラッシュの状態を確認できます。

- 点灯：シャッターボタンを全押しすると、発光します。
- 点滅：フラッシュの充電中です。撮影できません。
- 消灯：発光しません。このときフラッシュモードアイコンも表示されません。



フラッシュ表示

フラッシュモードの種類

 AUTO	自動発光 暗い場所などで、必要に応じてフラッシュを発光します。
	赤目軽減自動発光 フラッシュで人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します。
	発光禁止 フラッシュは発光しません。 暗い場所で撮影するときは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
	強制発光 常にフラッシュを発光します。逆光で撮影するときなどに使います。
	スローシンクロ 夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。自動発光でメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景を写します。

フラッシュモードの設定について

- 撮影モードによっては、設定できないことがあります。
-  (オート撮影) モードの場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。

赤目軽減自動発光について

フラッシュが本発光する前に、小光量で数回発光する「プリ発光」で赤目現象の発生を軽減します。さらに、画像の記録時に赤目現象を検出すると、赤目部分を画像補正して記録します。

撮影する際は、以下にご注意ください。

- プリ発光するため、シャッターボタンを押してからシャッターがきるまでに、通常よりも時間がかかります。
- 画像の記録にかかる時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- ごくまれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。

セルフタイマーを使う

シャッターボタンを押してから約10秒または2秒後にシャッターをきります。

三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー (77) の [手ブレ補正] を [しない] にしてください。

1 セルフタイマーアイコンをタッチする



2 10sまたは2sをタッチする

- ・ **10s** [10秒]: 記念撮影などに適しています。
- ・ **2s** [2秒]: 手ブレの軽減に適しています。



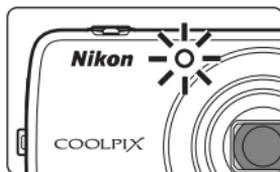
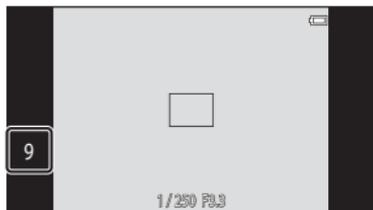
3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- ・ ピントと露出が合います。



4 シャッターボタン を全押しする

- カウントダウンが始まります。セルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターがきれると、セルフタイマーは [しない] になります。
- カウントダウンを止めるには、もう一度シャッターボタンを押します。



マクロ（接写）モードを使う

被写体に近づいて撮影するときに設定します。

- 1 マクロモードアイコンをタッチする



- 2 ONをタッチする



- 3 ズームレバーを動かし、👉マークやズーム表示が緑色になるズーム位置にする



- ・ 緑色で表示されるズーム位置では、レンズ前約10 cmまでの被写体にピント合わせができます。
- △マークのズーム位置では、レンズ前約2 cmまでの被写体にピント合わせができます。

✓ フラッシュ撮影についてのご注意

撮影距離が50 cm未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがあります。

📎 マクロモードの設定について

- ・ 撮影モードによっては、設定できないことがあります。
- ・ 📷（オート撮影）モードの場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。

明るさを調整する（露出補正）

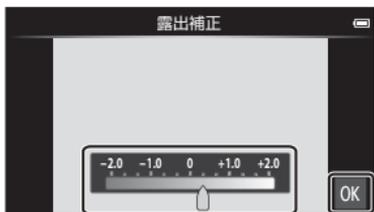
画像全体の明るさを調整できます。

- 1 露出補正アイコンをタッチする



- 2 スライダーバーをタッチまたはドラッグして補正值を変更し、**OK**をタッチする

- ・ 明るくする：「+」側に設定します。
- ・ 暗くする：「-」側に設定します。
- ・ **OK** をタッチしなくても、補正值が設定されます。



露出補正の設定について

-  (オート撮影) モードの場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。

初期設定一覧

各撮影モードの初期設定は以下のとおりです。

	フラッシュ (□47)	セルフ タイマー (□49)	マクロ (□51)	露出補正 (□52)
(らくらくオート撮影)	※1	しない	しない※2	0.0
(オート撮影)	AUTO	しない	しない	0.0
(スペシャルエフェクト)	AUTO	しない	しない	0.0
(ベストフェイス)	AUTO	しない	しない※3	0.0
(動画)	※3	しない	しない	0.0
シーン				
(ポートレート)		しない	しない※3	0.0
(風景)	※3	しない	しない※3	0.0
(スポーツ)	※3	しない※3	しない※3	0.0
(夜景 ポートレート)	※4	しない	しない※3	0.0
(パーティー)	※5	しない	しない※3	0.0
(ビーチ)	AUTO	しない	しない※3	0.0
(雪)	AUTO	しない	しない※3	0.0
(夕焼け)	※3	しない	しない※3	0.0
(トワイライト)	※3	しない	しない※3	0.0
(夜景)	※3	しない	しない※3	0.0
(クローズアップ)		しない	する※3	0.0
(料理)	※3	しない	する※3	0.0
(打ち上げ花火)	※3	しない※3	しない※3	0.0※3
(モノクロコピー)		しない	しない	0.0
(逆光)	※6、 ※6	しない	しない※3	0.0
(かんたんパノラマ)	※3	しない※3	しない※3	0.0
(ペット)	※3	しない※3	しない	0.0

- ※1  [自動発光] (初期設定) または  [発光禁止] を選べます。  [自動発光] にすると、自動判別されたシーンに合わせてカメラがフラッシュモードを設定します。
- ※2 変更できません。  に判別されるとマクロモードになります。
- ※3 変更できません。
- ※4 変更できません。赤目軽減で強制発光します。
- ※5 赤目軽減スローシンクロに切り換わることがあります。
- ※6 [HDR] の [しない] 時は  (強制発光) に、[HDR] の [する] 時は  (発光禁止) に固定されます。

MENUボタンで設定できる機能(撮影メニュー)

撮影モードでMENUボタンを押すと、以下のメニューを設定できます (□3)。



設定できるメニューは、撮影モードによって、以下のように異なります。

			SCENE※2		
画像モード※1	○	○	○	○	○
タッチ撮影	○	○	○	○	○
ISO感度設定	×	○	×	×	×
連写	×	○	×	×	×
ホワイトバランス	×	○	×	×	×
AFエリア選択	×	○	×	×	×
美肌効果	×	×	×	×	○
目つぶり軽減	×	×	×	×	○
笑顔自動シャッター	×	×	×	×	○

※1 設定を変更すると、他の撮影モードでも同じ画像モードの設定になります。

※2 シーンによっては、他の項目を設定できます。→「ヒントとご注意」(□39)

撮影メニューの種類

項目	内容
◀ 画像モード	記録する画像サイズと画質の組み合わせを設定します。 ・初期設定：[16] [4608 × 3456]
📷/📷/📷 タッチ撮影	画面にタッチするだけでシャッターがきる [タッチシャッター] (初期設定) と、画面をタッチしてAFエリアを選ぶ [タッチAF/AE] を切り換えます。📷 (オート撮影) モードでは、[ターゲット追尾] も設定できます。
ISO ISO感度設定	被写体の明るさに応じて、ISO感度を設定します。 ・初期設定：[オート] [オート] では、ISO感度が高くなると、撮影画面に [ISO] が表示されます。
📷 連写	単写または連続撮影の設定をします。 ・初期設定：[単写]
WB ホワイトバランス	画像を見た目に近い色で記録するように、天候や光源に合わせて設定します。 ・初期設定：[オート]
📷 AFエリア選択	AF (オートフォーカス) でピント合わせをするエリアの決め方を設定します。 ・初期設定：[ターゲットファインド AF] (📷60)
📷 美肌効果	人物の肌 (顔) をなめらかにする度合いを設定します。 ・初期設定：[標準]
📷 目つぶり軽減	撮影のたびに2回シャッターをきり、人物が目をつぶっていない画像を優先して1コマだけ記録します。 ・初期設定：[しない]
📷 笑顔自動シャッター	人物の笑顔を検出したときに、自動でシャッターをきる設定をします。 ・初期設定：[する (単写)]

組み合わせて使えない機能

他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。

制限される機能	設定	内容
フラッシュモード (☐☐47)	連写 (☐☐56)	[単写] 以外にすると、フラッシュは使えません。
	目つぶり軽減 (☐☐56)	[目つぶり軽減] を [する] にすると、フラッシュは使えません。
	笑顔自動シャッター (☐☐56)	[する (連写)] または [する (BSS)] にすると、フラッシュは使えません。
セルフタイマー (☐☐49)	タッチ撮影 (☐☐56)	[ターゲット追尾] にすると、セルフタイマーは使えません。
	笑顔自動シャッター (☐☐56)	[しない] 以外にすると、セルフタイマーは使えません。
マクロモード (☐☐51)	タッチ撮影 (☐☐56)	[ターゲット追尾] にすると、マクロモードは使えません。
画像モード (☐☐56)	連写 (☐☐56)	連写の設定によって、[画像モード] は以下に固定されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [高速連写 120 fps] 時: VGA (画像サイズ: 640 × 480 ピクセル) ・ [高速連写 60 fps] 時: 1M (画像サイズ: 1280 × 960 ピクセル) ・ [マルチ連写] 時: 5M (画像サイズ: 2560 × 1920 ピクセル)
タッチ撮影 (☐☐56)	笑顔自動シャッター (☐☐56)	[笑顔自動シャッター] で撮影するときは、[タッチ撮影] は使えません。
	ペット自動シャッター (☐☐41)	[ペット自動シャッター] で撮影するときは、[タッチ撮影] は使えません。

制限される機能	設定	内容
ISO感度設定 ( 56)	連写 ( 56)	[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps]、 [マルチ連写] にすると、[ISO感度設定] は明るさに応じて自動的に設定されます。
		[連写 L] にすると、[3200] は選べませ ん。[ISO感度設定] が [3200] のときに [連写 L] にすると、[1600] に変更され ます。
連写 ( 56)	タッチシャッ ター ( 56)	[マルチ連写] 以外は、タッチシャッター を使うと1コマずつの撮影になります。
ホワイトバラ ンス ( 56)	クリエイティブ スライダ ー ( 36)	色合いを調整すると、[ホワイトバランス] は [オート] に固定されます。
AFエリア選 択 ( 56)	クリエイティブ スライダ ー ( 36)	[ターゲットファインドAF] に設定時、ク リエイティブスライダの調整をすると、 主要な被写体は検出しません。
	タ ッ チ 撮 影 ( 56)	[ターゲット追尾] にすると、[AFエ リア 選 択] は設定できません。
	ホ ウ イ ト バ ラ ン ス ( 56)	[ターゲットファインドAF] に設定時、[ホ ウ イ ト バ ラ ン ス] を [オート] 以外にす ると、主要な被写体は検出しません。
目 つ ぶ り 軽 減 ( 56)	笑 顔 自 動 シャ ッ タ ー ( 56)	[目 つ ぶ り 軽 減] を [する] に設定時、[笑 顔 自 動 シャ ッ タ ー] を [する (連写)] ま たは [する (BSS)] にすると、[目 つ ぶ り 軽 減] は [しない] に変更されます。
笑 顔 自 動 シャ ッ タ ー ( 56)	目 つ ぶ り 軽 減 ( 56)	[する (連写)] または [する (BSS)] に 設定時、[目 つ ぶ り 軽 減] を [する] にす ると、[する (単写)] に変更されます。

制限される機能	設定	内容
デート写し込み (□77)	連写 (□56)	[単写]、[マルチ連写] 以外にすると、日付を写し込みません。
	目つぶり軽減 (□56)	[する] にすると、日付を写しこめません。
	笑顔自動シャッター (□56)	[する (連写)] または [する (BSS)] にすると、日付を写しこめません。
電子ズーム (□77)	連写 (□56)	[マルチ連写] にすると、電子ズームは使えません。
	タッチ撮影 (□56)	[ターゲット追尾] にすると、電子ズームは使えません。
シャッター音 (□77)	連写 (□56)	[単写] 以外にすると、シャッター音は鳴りません。
目つぶり検出設定 (□77)	連写 (□56)	[単写] 以外にすると、目つぶり検出をしません。

■ 電子ズームについてのご注意

- 撮影モードや設定によっては、電子ズームを使えません。
- 電子ズーム使用時は、画面中央の被写体にピントが合います。

ピント合わせについて

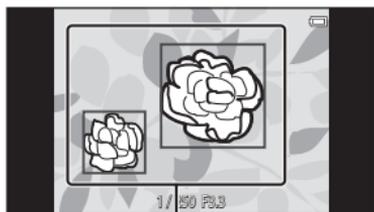
ピントを合わせる位置（AFエリア）は、撮影モードによって異なります。

ターゲットファインドAFについて

📷（オート撮影）モードの「AFエリア選択」(📖56)が「ターゲットファインドAF」のときは、シャッターボタンを半押しすると、以下の動作でピントを合わせます。

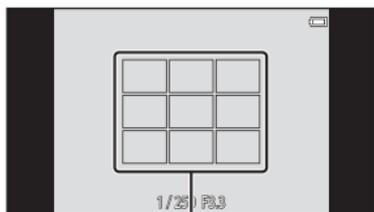
- カメラが主要な被写体を検出し、ピントを合わせます。ピントが合うと、AFエリア表示が緑色に点灯します。カメラが人物の顔を検出したときは、人物を優先します。

→「顔認識撮影について」(📖61)



AF エリア

- カメラが主要な被写体を検出していないときは、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します。



AF エリア

✔ ターゲットファインドAFについてのご注意

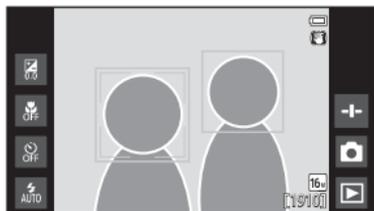
- どの被写体を主要被写体とみなして検出するかは、撮影条件によって異なります。
- クリエイティブスライダーの調整をしたときや、「ホワイトバランス」の設定によっては、主要被写体を検出できないことがあります。
- 以下のような場合、カメラが主要被写体を適切に検出できないことがあります。
 - 被写体が非常に暗い、または明るい
 - 主要被写体の色に特徴が少ない
 - 主要被写体が画面の周辺部にある
 - 主要被写体が同じパターンを繰り返す

顔認識撮影について

以下の撮影モードでは、人物の顔にカメラを向けると自動的に顔を認識して、顔にピントを合わせます。

-  (らくらくオート撮影) モード (□34)
-  (オート撮影) モード (□35) で [AF エリア選択] (□56) を [顔認識オート] または [ターゲットファインドAF] に設定時
- シーンモード (□37) の [ポートレート]、[夜景ポートレート]
- ベストフェイスモード (□44)

複数の顔を認識したときは、ピントを合わせる顔に二重枠のAFエリアが表示され、AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。



顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しした場合：

-  (らくらくオート撮影) モードでは、撮影シーンによってAFエリアが変わります。
-  (オート撮影) モードでは、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います ([顔認識オート] 時)。
- [ポートレート]、[夜景ポートレート]、またはベストフェイスモードでは、画面中央にピントが合います。

顔認識機能についてのご注意

- 顔の向きなど撮影条件によっては、顔を認識できないことがあります。
- 以下のような場合は、顔を認識できません。
 - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている
 - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている

美肌機能について

以下の撮影モードでは、シャッターがきれると、人物の顔をカメラが検出し、画像処理で肌（顔）をなめらかにします（最大3人）。

- ベストフェイスモード（□44）
 - 美肌効果の度合いを設定できます。
- シーンモード（□37）の [ポートレート] または [夜景ポートレート]
 - （らくらくオート撮影）モードで切り換わった場合を含みます。

撮影後にも、記録した画像に [美肌] の編集ができます（□70）。

美肌機能についてのご注意

- 画像の記録にかかる時間が通常より長くなる場合があります。
- 撮影条件によっては、美肌の効果が表れないことや、顔以外の部分が画像処理されることがあります。

オートフォーカスが苦手な被写体

以下のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。また、AFエリアやAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 同じパターンを繰り返す被写体（窓のブラインドや、同じ形状の窓が並んだビルなど）
- 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、「フォーカスロック撮影」（□63）をお試しください。

フォーカスロック撮影

ピントを合わせたい被写体にAFエリアが合わない場合は、フォーカスロック撮影をおすすめします。

- 1  (オート撮影) モードで [AFエリア選択] を [中央] に設定する (P56)

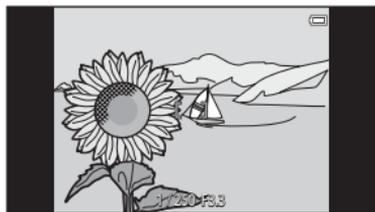
- 2 被写体を画面中央に配置し、シャッターボタンを半押しする

- ピントが合い、AFエリアが緑色に点灯します。
- 露出も固定されます。



- 3 半押ししたまま構図を変える

- 被写体との距離は変えないでください。



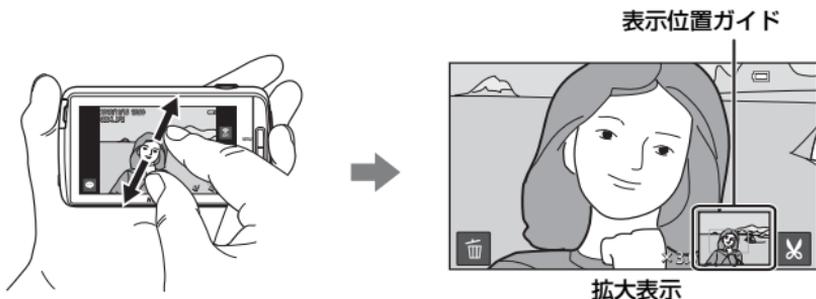
- 4 シャッターボタンを全押しして撮影する



いろいろな再生

拡大表示

再生モードの1コマ表示（26）で、画像に2本の指を触れたまま指の間隔を広げると、拡大表示されます。



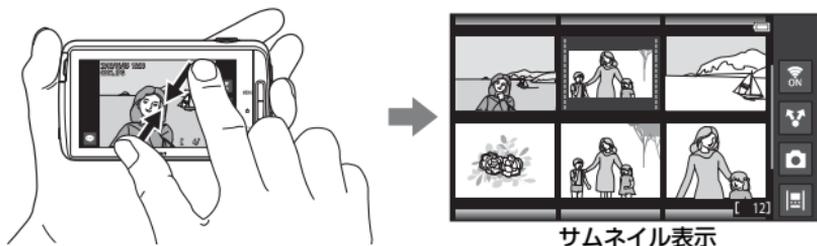
- ズームレバーを**T (Q)**側に動かすか、画像を2回すばやくタッチしても拡大表示します。
- 指の動き（広げる/つまむ）に合わせて拡大率を調整できます。ズームレバー（**T (Q)** / **W (Z)**）を動かしても調整できます。
- 表示位置を移動するには、画像をドラッグします。
- ズームレバーを動かして拡大表示した場合、顔認識（ターゲットファンドAF時を除く）またはペット検出して撮影した画像は、撮影時に認識した顔を中心に拡大表示します（連写した画像を除く）。複数の顔を認識していたときは、またはをタッチすると表示する顔が切り換わります。
- をタッチすると、画像を削除できます。
- 拡大表示中に画像を2回すばやくタッチすると、1コマ表示に戻ります。

画像をトリミングするには

拡大表示中にをタッチすると、表示されている部分だけにトリミングし、別画像として保存できます。

サムネイル表示

再生モードの1コマ表示（□26）で、画像に2本の指を触れたまま指の間隔をつまむように狭めると、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。



- ズームレバーを**W** () 側に動かしても、サムネイル表示になります。
- 指の動き（広げる/つまむ）に合わせて表示コマ数を変更できます。ズームレバー（**T** () / **W** ()) を動かしても変更できます。
- 液晶モニターを上下にドラッグすると、画面がスクロールします。
- サムネイル表示で画像をタッチすると、タッチした画像を1コマ表示します。

タイムラインビュー（時系列で表示する）

巻物を見るように、複数の画像とコメント（□□32）を時系列でつなげて表示します。

お気に入りの画像や、テーマごとにまとめたい画像を自由に選んで、1つの「タイムライン」として登録できます。

画像をタイムラインに登録する

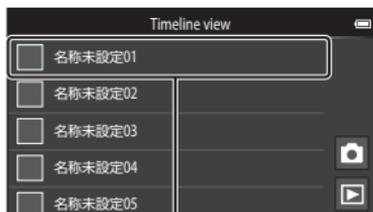
1 再生画面でをタッチする

- ・タイムラインの一覧画面が表示されます。



2 画像に登録したいタイムラインをタッチする

- ・すでに画像が登録されているときは、登録された画像とコメントがタイムラインビューで表示されます（□□68）。MENU ボタンを押すと、登録の追加や解除ができます（□□69）。
- ・タイムラインを長押しすると、タイムラインの名称を変更できます。→「 タイトル編集」（□□69）



タイムライン

3 [画像を登録/解除]をタッチする

- ・画像の選択画面が表示されます。
- ・[タイトル編集]をタッチすると、タイムラインの名称を変更できます。→「 タイトル編集」（□□69）



4 画像をタッチして✔を付ける

- 複数の画像を選択できます。選択を解除するには、もう一度画像をタッチして✔を外します。
- サムネイル表示 (□65) と同様に、ズームレバーまたはタッチ操作で画面に表示するコマ数を切り換えられます。



5 OKをタッチする

- ✔を付けた画像が、選んだタイムラインに登録され、タイムラインビューで表示されます (□68)。

✔ タイムラインについてのご注意

- 1つのタイムラインに登録できる画像は、最大50コマまでです。
- 動画はタイムラインに登録できません。
- タイムラインは登録時に使用している記録媒体（カード/内蔵メモリー）に保存されます。記録媒体を変更すると登録したタイムラインは表示されません。
- タイムラインの数は50個に固定です。追加や削除はできません。
- タイムラインは複製したり、他の記録媒体（カード/内蔵メモリー）にコピーしたりすることはできません。

タイムラインビューで表示する

「画像をタイムラインに登録する」(□66)の手順2の画面で、画像が登録されたタイムラインをタッチします。

- 画像が登録されたタイムラインには、代表画像が表示されます。



代表画像

タイムラインビューで表示中は、以下の操作ができます。

- 液晶モニターを上下にドラッグすると、画面がスクロールします。
- 画像をタッチすると、1画像で表示します。

1画像で表示中は拡大表示(□64)や、かんたんパノラマで撮影した画像(□40)のスクロール再生ができます。

- 画像を左右にドラッグすると、同じタイムラインに登録された前後の画像を表示できます。画像をタッチするか、↶ボタンを押すとタイムラインビューの表示に戻ります。
- 各画像のをタッチすると、以下の項目が選べます。
 - [アプリに送る]：画像を共有できます(□91)。
 - [代表画像に設定]：タイムラインの一覧画面に表示する代表画像に設定します。
 - [コメント編集]：コメントの追加および編集ができます(□32)。
 - [コメント削除]：コメントを削除します(コメントがある場合のみ)。項目以外をタッチするか、↶ボタンを押すと項目を非表示にできます。
- タイムラインビューの表示をやめるには、再生モードアイコンまたは、撮影モードアイコンをタッチします。



タイムラインビュー

MENU ボタンで設定できる機能（タイムラインメニュー）

タイムラインビューでMENU ボタンを押すと、以下のメニュー操作ができます。

項目	内容
 画像を登録/解除	画像の登録と、登録の解除をします。 <ul style="list-style-type: none"> 画像の選択方法は、「画像をタイムラインに登録する」手順 4 をご覧ください (☞66)。
 全画像を解除	画像の登録を一括解除します。
 タイトル編集	タイムラインの名称を変更します。 <ul style="list-style-type: none"> 文字の入力方法は、「文字を入力する」(☞83) をご覧ください。 入力が終わったら、画面左上の ✓ をタッチして確定します。 他のタイムラインと同じ名称は付けられません。
 表示順	画像の表示順を変更します。 <ul style="list-style-type: none"> 初期設定：[新しい画像が上]
 スライドショー	表示中のタイムラインに登録された画像を、スライドショー (☞70) で再生します。

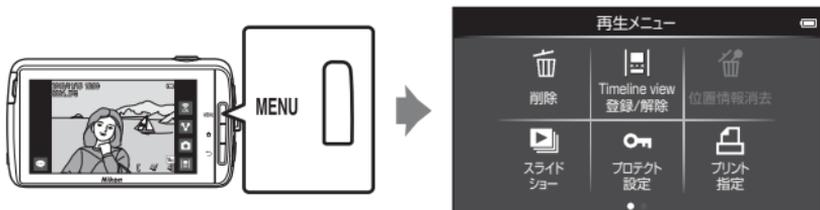
タイムラインへの登録/解除について

再生メニューの [Timeline view 登録/解除] (☞70) を使っても、画像をタイムラインに登録できます。1つの画像を複数のタイムラインに一括で登録したり、複数の登録を一括で解除したりできます。

MENUボタンで設定できる機能(再生メニュー)

1コマ表示中またはサムネイル表示中にMENUボタンを押すと、以下のメニュー操作ができます (□3)。

- 画面を左右にフリックすると、前後の項目を表示します。



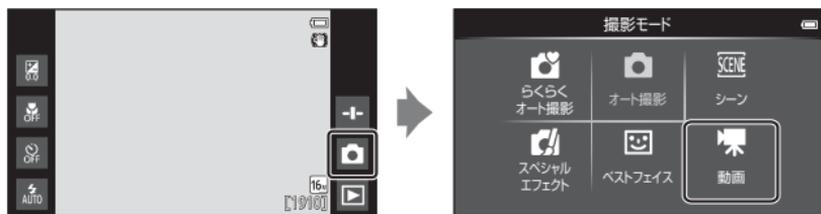
項目	内容
🗑️ 削除	画像や動画を削除します。
📅 Timeline view 登録/解除※1、2	1コマ表示した画像をタイムラインに登録します。 タイムラインの選択画面で、✔️を付けた複数のタイムラインに一括で登録できます。✔️を外すと登録を解除できます。
📍 位置情報消去※1	画像または動画に記録した位置情報を消去します。位置情報が記録されていないときは選べません (□78)。
📺 スライドショー	画像を1コマずつ順番に自動再生します。
🔒 プロテクト設定	大切な画像を誤って削除しないように、保護します。
🖨️ プリント指定※2	どの画像を何枚プリントするかを、あらかじめ設定します。
✂️ 画像編集※1、2、3	撮影した画像を編集します。編集機能には👉 [簡単レタッチ]、👉 [D-ライティング]、👉 [フィルター効果]、👉 [美肌]、👉 [スモールピクチャー] があります。 🔄 [画像回転] で、表示画像を縦位置または横位置に回転します。

項目	内容
🔊 音量※1、4	動画の再生音量を調節します。
📄 画像コピー	内蔵メモリーの画像をカードへ、またはカードの画像を内蔵メモリーへコピーします。

- ※1 サムネイル表示のときは、設定できません。1 コマ表示にしてから設定してください。
- ※2 動画は設定できません。
- ※3 編集した画像は、元画像とは別に保存されます。画像によっては編集できない場合があります。
- ※4 動画のみ設定できます。

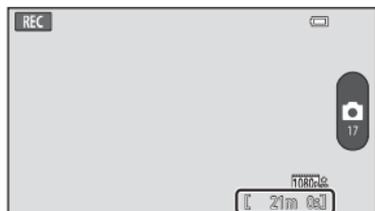
動画を撮影、再生する

動画を撮影する



1 シャッターボタンを全押しして、撮影を開始する

- シャッターボタンを半押しすると、人物の顔（顔を検出時のみ）または画面中央のエリアでピントを合わせます。
- 動画の撮影中に静止画を記録できます。→「静止画を記録するには」(□73)



動画の記録可能時間

2 シャッターボタンを押して、撮影を終了する

- 画面をタッチしても動画の撮影開始/終了ができません。
→「□タッチ撮影」(□75)

静止画を記録するには

動画撮影中に画面右のボタンをタッチすると、動画撮影を続けながら静止画を記録できます。

- 記録される画像サイズは、[動画設定] (□75) と同じになります。
- HS動画で撮影中は、静止画を記録できません。
- 記録可能なコマ数がボタンに表示されます (50コマ以下のとき)。



静止画記録

動画で設定できる機能

- セルフタイマー (□49)
- マクロ (□51)
- 露出補正 (□52)
- 動画メニュー (□75)

✓ 動画の連続撮影可能時間

1回の撮影で記録可能な時間は、カードの残量が多いときでもファイルサイズ4GBまで、または最長29分までです。

- 撮影時の画面には、1回の撮影で記録可能な時間が表示されます。
- カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。
- 実際に記録可能な時間は、画像の絵柄や動き、カードの種類によって異なることがあります。

✓ 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。**電池カバーやカードカバーを開けたり、電池やカードを取り出したりしないでください。**撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやカードが壊れることがあります。

✓ 動画撮影についてのご注意

- 動画撮影には、SD スピードクラスが Class 6 以上のカードをおすすめします (p.18)。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- 電子ズームを使うと画質が劣化します。
- シャッターボタンやズームレバーなどの操作音やズーム、オートフォーカス、手ブレ補正、明るさが変化したときの絞り制御などの動作音が録音されることがあります。
- 動画撮影中の液晶モニターの表示に、以下のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
 - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画像に横帯が発生する
 - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体がゆがむ
 - カメラを左右に動かした場合、画面全体がゆがむ
 - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
- 撮影距離やズーム倍率によっては、動画の撮影時や再生時、同じパターンを繰り返す被写体（布地や建物の格子窓など）に色の着いた縞模様（干渉縞、モアレ）が現れることがあります。これは被写体の模様と撮像素子の配列が干渉すると起きる現象で故障ではありません。

✓ カメラの温度について

- 動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなる場合があります。
- 動画撮影中にカメラ内部が極端に高温になると、撮影が自動終了します。自動終了までの残りの秒数 (約10s) が画面に表示されます。自動終了後、電源もOFFになります。カメラ内部の温度が下がるまでしばらく放置してからお使いください。

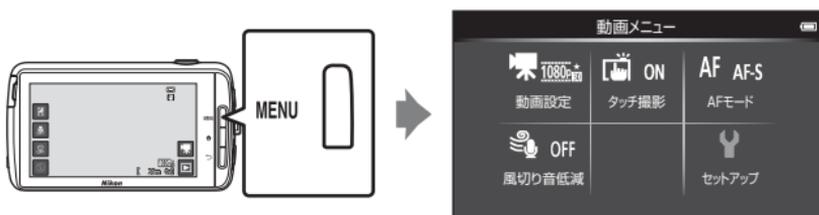
✓ オートフォーカスについてのご注意

「オートフォーカスが苦手な被写体」(p.62)では、ピント合わせができないことがあります。このような被写体を動画で撮影するときは、以下の方法をお試しください。

1. 撮影前に動画メニューの[AFモード]をAF-S[シングルAF](初期設定)にする。
2. 等距離にある別の被写体を画面中央に配置してシャッターボタンを半押しし、構図を変えてからシャッターボタンを全押しする。

MENU ボタンで設定できる機能（動画メニュー）

動画撮影でMENUボタンを押すと、以下のメニューを設定できます（図3）。



項目	内容
🔊 動画設定	撮影する動画の種類を選びます。 通常速度の動画と、再生するとスローモーションや早送りになるHS（ハイスピード）動画があります。 ・初期設定：1080p [1080★/30p]
👆 タッチ撮影	画面をタッチして動画の撮影を開始/終了するかどうかを設定します。 ・初期設定：ON [する]
AF AFモード	動画撮影開始時のピントに固定するAF-S [シングルAF]、または動画撮影中にピント合わせを繰り返すAF-F [常時AF] に設定します。 ・初期設定：AF-S [シングルAF]
🔊 風切り音低減	動画撮影時に風切り音を低減するかどうかを設定します。 ・初期設定：OFF [しない]

動画を再生する

再生モードアイコンをタッチして、再生モードにします。

- 動画設定 (☞75) のアイコンが表示されている画像が動画です。
- MENU ボタンを押して  をタッチすると、再生前に音量を調節できます。
-  をタッチすると、再生できます。
- 市販のヘッドホンで動画の音声を楽しむこともできます (☞2)。



動画設定

動画再生中の操作

再生中に液晶モニターをタッチすると、画面下に操作パネルが表示されます。操作パネルのアイコンをタッチすると、以下の操作ができます。



機能	アイコン	内容
音量		音量を調節できます。ズームレバー (☞1) を動かしても、調整できます。
巻き戻し		タッチしている間、巻き戻します。
早送り		タッチしている間、早送りします。
一時停止		一時停止します。一時停止中は、以下の操作ができます。
		 再生を再開します。
再生終了		1コマ表示に戻ります。

動画の削除

動画を削除するには、1コマ表示 (☞26) やサムネイル表示 (☞65) で動画を選んでMENUボタンを押し、 をタッチします (☞28)。

カメラに関する基本設定

MENU ボタンで設定できる機能（セットアップメニュー）

セットアップメニューでは、以下のメニューを設定できます。



項目	内容
オープニング画面	電源をONにしたときに、液晶モニターにオープニング画面を表示するかどうかを設定します。
モニター設定	[モニター表示設定]、[撮影後の画像表示] および [メニュー視覚効果] を設定します。
デート写し込み	撮影日時を画像に写し込む設定ができます。
手ブレ補正	撮影時の手ブレ補正を設定します。
AF補助光	AF補助光の点灯/非点灯を設定します。
電子ズーム	電子ズームの動作を設定します。
シャッター音	シャッターをきったときのシャッター音を鳴らすかどうかを設定します。
HDMI	テレビとの接続に必要な設定をします。
目つぶり検出設定	顔認識撮影したときに、目つぶりを検出するかどうかを設定します。

項目	内容
位置情報記録機能	GPS機能またはWi-Fi機能※を使って取得した位置情報を、撮影した画像または動画に記録するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> この機能を使うときは、[位置情報アクセス] (□86) の [位置情報にアクセス] を [ON] にしてください。
設定クリアー	カメラの設定を初期設定にリセットします。
バージョン情報	カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

※ インターネットへの接続が必要です (□88)。

Android OSを使う

ホーム画面の基本操作

ホーム画面の表示内容

- どの画面からでも **HOME** ボタンを押すと、ホーム画面が表示されます。
- 表示される情報は、Android OSの設定や状態によって異なります。



1	ステータスバー.....	81	4	ショートカット (アプリケーション).....	80
2	ドックエリア.....	80	5	Google検索バー.....	82
3	画面位置表示※.....	81			

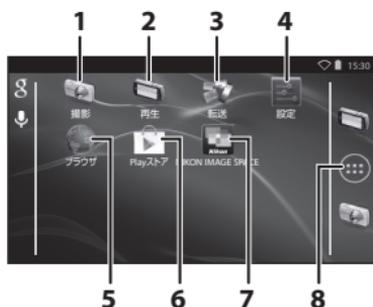
※ 画面を切り換えたときに表示され、すぐに消えます。

✓ 画面ロックについてのご注意

- 以下の操作をした場合は、画面がロックされます。
 - 電源をONにして、はじめて **HOME** ボタンを押したとき
 - スタンバイモードから復帰して、はじめて **HOME** ボタンを押したとき
 - 電源OFFから、**HOME** ボタンを長押ししてカメラを起動したとき
- 画面ロックを解除するには、鍵のアイコンを画面の外側へドラッグします (初期設定)。ロックが解除されると、ホーム画面が表示されます。
- プライバシー保護のため、設定メニュー (P.86) の [セキュリティ] → [画面のロック] で画面ロックの解除方法を変更することをおすすめします。
- 画面ロックの解除方法をお忘れにならないようご注意ください。忘れてしまった場合は、画面ロックの解除ができません。ニコンサービス機関にお問い合わせください。

主なアプリケーションを起動する

ホーム画面に配置されたショートカットをタッチすると、以下のアプリケーションを起動します。ショートカットは、配置の変更や追加または削除ができます（ドローワーを除く）。



アプリケーション※	内容
1 撮影	このカメラの撮影アプリケーションを起動します（□□6）。
2 再生	このカメラの再生アプリケーションを起動します（□□8）。
3 転送	スマートデバイスと接続して画像や動画を転送するアプリケーション「スマートデバイスに転送」を起動します。
4 設定	Android OSの設定メニューを表示します（□□86）。
5 ブラウザ	ブラウザを起動し、インターネットに接続しているときは、ホームページを表示します（□□92）。
6 Playストア	Google Play™ストアを表示します（□□93）。
7 NIKON IMAGE SPACE	NIKON IMAGE SPACE アプリケーションを起動します（□□92）。
8 ドローワー	インストールされているアプリケーションの一覧画面（アプリケーション画面）を表示します（□□93）。

※ プリインストールされているアプリケーションは国や地域によって異なる場合があります。

アプリケーションの終了について

アプリケーションの使用中に \blacktriangle ボタンや \blacktriangleleft ボタンを押すと、ホーム画面など他の画面に切り換わりますが、アプリケーションはまだ終了していません。電力消費を抑えるため、使っていないアプリケーションは終了することをおすすめします。

アプリケーションの終了方法は、アプリケーションによって異なります。設定メニュー（□□86）の【アプリ】で終了できる場合があります。

ステータスバーを使う

ステータスバーは、Android OSの画面上部に表示されます。

新着メールの通知やWi-Fi(無線LAN)ネットワークの状態、または電池残量など、カメラの状態や実行中の動作をアイコンで確認できます。



通知シェードとクイック設定

ステータスバーを下にドラッグすると「通知シェード」が表示され、二本の指でドラッグすると「クイック設定」が表示されます。

- 右上のアイコンをタッチすると、通知シェードとクイック設定の表示を切り換えられます。
- 〽️ ボタンを押すか、画面を上にもドラッグすると、ステータスバーの表示に戻ります。



通知シェード



クイック設定

- 通知シェードでは、ステータスバーに表示された通知の詳細を確認できます。
- クイック設定では、画面の明るさを調節したり、Wi-Fiなどの設定画面を直接表示したりできます。[Wi-Fi] を長押しすると、Wi-Fi機能のON/OFFを切り換えられます。

画面を切り換える

ホーム画面およびアプリケーション画面は複数の画面で構成されており、左右フリックすると、今の画面を他の画面に切り換えることができます。切り換えた画面の画面位置は、画面位置表示(□79)で確認できます。

オプションメニューを使う

ホーム画面またはアプリケーション画面でMENUボタンを押すと、以下の項目が選べます。



項目	内容	📖
壁紙	画像を選択してホーム画面の壁紙を変更できます。	-
アプリの管理	インストールされたアプリケーションの情報を確認したり、アプリケーションの削除などができます。	86
システム設定	Android OSの設定メニューを表示します。	86

Google検索バーを使う

ホーム画面左上の🔍をタッチすると、カメラに保存したアプリケーションなどを検索できます。インターネットに接続しているときは、インターネット上の情報を検索できます (📖88)。

- キーボードの使い方は「文字を入力する」(📖83)をご覧ください。
- 検索を開始するには、キーボード右下の🗨️ (Japanese IME)、または🔍 (Androidキーボード) をタッチします。

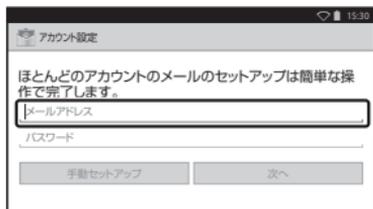
文字を入力する

画面上のキーボード、または音声入力機能を使います。

キーボードを使う

画面のキーボードをタッチして文字を入力できます。

- キーボードを表示するには、入力エリアをタッチします。
つボタンを押すと非表示になります。
- 「機能キーについて」(□84) もご覧ください。



キーボード (12 キーボード)



キーボードの種類を変更するには

キーボードを表示した状態で通知シェード (□81) を表示し、[入力方法の選択] をタッチすると、キーボードの種類 (言語や入力ソフト) を変更できます。

- 選べる項目は、設定メニュー [言語と入力] (□87) の設定内容によって異なります。
- Google Play ストアから、IME (入力ソフト) をダウンロードして追加することもできます (□93)。



Japanese IME について

日本語の入力方法が「Japanese IME」(初期設定) のときは、キーボードの種類を「12キーボード」または「QWERTYキーボード」から選べます。

キーボードを変更するには、キーボード左下の **文字** (3.1.1) を長押しして操作パネルを表示し、操作パネル左下のアイコンをタッチします。



QWERTY キーボード



操作パネル

機能キーについて

文字の種類を変更したり、削除や改行などができます。

機能キー	内容
	カーソル位置の前の文字を削除します。
 / 	カーソルを移動します。
	タッチするたびにキーボードの表示を「ひらがな」→「半角英字」→「半角数字」の順に切り換えます。 ・長押しすると、操作パネルを表示します (□□83)。
	入力できる記号を表示します。
 / 	入力中の文字を変換したり、スペースを入れたりします。
	文字変換を確定したり、改行したりします。
 (12キーボードのみ)	1つ前の文字を表示します。
 /  (12キーボードのみ)	濁点を付けたり、大文字／小文字を切り換えます。
 (QWERTYキーボードのみ)	大文字／小文字、記号を切り換えます。

テキストを編集する

以下の操作で、テキストを編集できます。

編集方法	操作
カーソルを移動する	カーソルを挿入したい位置をタッチします。▲をドラッグするとカーソルを移動できます。
文字を選択する	選択したい文字を長押しします。文字をドラッグしても選択できます。▲または ▼をドラッグすると、選択範囲を変更できます。 すべての文字を選択するには、文字を長押ししてから [すべて選択] ※をタッチします。
切り取る/コピーする	文字を選択し、[切り取り] ※または [コピー] ※をタッチします。
[切り取り] / [コピー] した文字を貼り付ける	文字を貼り付ける位置にカーソルを移動して ▲をタッチし、[貼り付け] ※をタッチします。文字を選択した状態で貼り付けると、貼り付けたテキストに置き換わります。

※ 入力エリアの上に表示されます。

音声入力機能を使う

音声を認識して文字を入力できます。

- ・ オフライン音声認識データがカメラにインストールされている必要があります。インターネットに接続している場合は、インストールされていなくても音声入力機能が使えます。

1 オフライン音声認識データをカメラにインストールする

- ・ 言語ごとにインストールが必要です。日本語と英語のデータはあらかじめカメラにインストールされています。
- ・ インストールするには、カメラをインターネットに接続してから設定メニュー [言語と入力] (□87) の [Google 音声入力] にチェックを入れ、 をタッチします。
[オフライン音声認識のダウンロード] → [すべて] から各言語のデータをダウンロードできます。

2 入力エリアをタッチしてキーボードを表示する

3 通知シェードを表示し、[入力方法の選択]をタッチする

- ・ 通知シェードを表示するには→「ステータスバーを使う」(□81)
- ・ [入力方法の選択] が表示されないときは、設定メニュー [言語と入力] (□87) の [Google 音声入力] にチェックを入れてください。

4 [Google 音声入力] をタッチし、カメラの内蔵マイクに向かって入力したい文字を話す

- ・ 市販の外部マイクは使えません。

Android OSの設定メニューを使う

ホーム画面で  [設定] をタッチすると、以下の項目が設定できます。



項目	内容	📖
Wi-Fi	Wi-Fi（無線LAN）に関する設定をします。	88
データ使用	一定期間に使用したデータ量の確認や使用量の管理などができます。	-
機内モード	すべてのワイヤレス接続を無効にします。	-
音	[タッチ操作音] など、音に関する設定をします。	-
ディスプレイ	[画面の明るさ]、[画面の自動回転]、[画面オフ]、[シャットダウンタイマー]などを設定します。	-
ストレージ	[SDカード内データを消去]でカードを初期化します。内蔵メモリー/カードの空き容量なども確認できます。	-
電池	各アプリケーションの電池使用量を確認します。	-
アプリ	アプリケーションに関する設定やインストール済みアプリケーションの管理をします。	80、93
位置情報アクセス	GPS機能またはWi-Fi機能を使って取得した位置情報を、カメラなどのアプリケーションが利用できるようにします。	-

項目	内容	📖
セキュリティ	[画面のロック] など、セキュリティに関する設定をします。	79
言語と入力※	表示言語や文字入力、およびテキスト読み上げに関する設定をします。	-
バックアップとリセット	[再起動] や [データの初期化] (内蔵メモリーの初期化) などを行います。	-
アカウントを追加	オンラインサービスのアカウントを追加します。	90
日付と時刻	日時の設定や表示形式、およびタイムゾーンを設定します。	17
ユーザー補助	ユーザー補助サービスの設定を行います。	-
端末情報	電池残量やAndroid OSのバージョンなどを確認できます。	-

※ 表示言語を間違えて設定したときは、🏠 ボタン → ⚙️ [設定] → 🗣️ [言語と入力] → 画面の一番上の項目 [言語] を選び直してください。

インターネットサービスを使う

インターネットサービスを利用するには、インターネットへの接続が必要です。はじめにWi-Fi（無線LAN）ネットワークを設定してください。

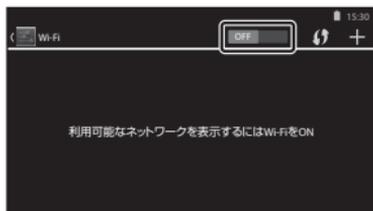
Wi-Fi（無線LAN）ネットワークを設定する

🏠 ボタンを押す → ⚙️ 設定 → Wi-Fi

Wi-Fi（無線LAN）接続できる環境が必要です。あらかじめ環境を準備し、「SSID」と「パスワード」を調べておいてください。

1 ON/OFF の切り換えボタンをタッチして、[ON]にする

- Wi-Fi（無線LAN）機能がONになり、利用可能なSSID（無線ネットワーク名）が画面に表示されます。
- Wi-Fi（無線LAN）機能がONになるまで、数秒かかる場合があります。



2 接続したいSSIDをタッチし、パスワードを入力して[接続]をタッチする

- 接続が完了すると、SSIDの下に「**接続済み**」と表示されます。
- パスワードはカメラに記憶されるため、次の接続時は入力する必要はありません。
- オープンネットワークはパスワードなしで接続できますが、セキュリティで保護されていません。接続前に、SSIDの右にあるアイコンでセキュリティが保護されているネットワークかどうかを確認してください。
- ネットワークを切断するには、接続中のSSIDをタッチして「**切断**」をタッチします。



✔ Wi-Fi（無線LAN）ネットワークについてのご注意

- 家庭内で構築したWi-Fi（無線LAN）ネットワーク環境についての詳細やご不明な点は、サービス提供者にお問い合わせください。
- すべてのWi-Fi（無線LAN）ネットワーク環境との接続を保証するものではありません。詳しくは、お取扱店またはサービス提供者までお問い合わせください。
- Wi-Fi（無線LAN）機能は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意のある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することをおすすめします。

✔ インターネット利用についてのご注意

インターネットを利用すると、いろいろな情報を検索することができますが、知らない間にウイルスに感染する可能性があります。

ウイルスに感染しているかどうか定期的にウイルスチェック（オンラインウイルススキャンなど）を行ったり、ウイルス対策ソフトを導入してウイルスの感染を予防することをおすすめします。

Googleアカウントを設定する

🏠 ボタンを押す → ⚙️ 設定 → アカウントを追加

Googleアカウントを設定すると、Google Playストアからアプリケーションをインストールしたり、Googleのサービスからさまざまな機能を利用することができます。

Googleアカウントは無料で取得でき、ユーザー名はメールアドレスとしても利用できます。

複数のアカウントを登録できます。

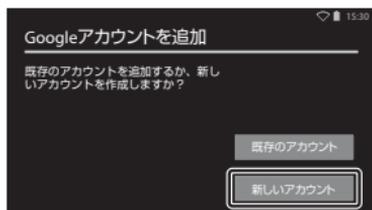
- ・ インターネットへの接続が必要です。Wi-Fi（無線LAN）ネットワークを設定してください（📖88）。

1 [Google] をタッチする



2 [新しいアカウント] をタッチする

- ・ 画面の指示に従って設定してください。
- ・ 設定が完了すると、[アカウントを追加]の上に[Google]が表示されます。



画像を共有する

撮影した画像や動画を、他のアプリケーションと共有できます。

例えばオンラインサービスを提供するアプリケーションと共有すると、インターネット上に画像や動画を公開することもできます。

- 共有するアプリケーションによっては、インターネットへの接続が必要です。Wi-Fi（無線LAN）ネットワークを設定してください（□88）。

1 共有したい画像を 1 コマ表示し、をタッチする

- タイムラインビューでも共有機能が使えます（□68）。
- 画像にコメントが付いていない場合は、手順3に進んでください。



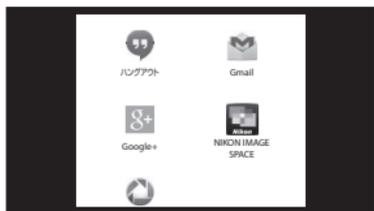
2 コメントを共有するかどうかを選ぶ

- 「**画像のみ**」：画像のみを共有します。
- 「**画像+コメント**」：画像とコメントを共有します。



3 アプリケーションを選ぶ

- 使いたいアプリケーションが表示されないときは、Google Play ストアからダウンロードしてください（□93）。
- アプリケーションのサポートに従って、操作してください。



複数の画像を一括で共有するには

サムネイル表示 (□65) で  をタッチすると、画像の選択画面が表示され、共有する画像を複数選べます。

- 画像をタッチして  を付けます。選択を解除するには、もう一度画像をタッチして  を外します。
- サムネイル表示 (□65) と同様に、ズームレバーまたはタッチ操作で画面に表示するコマ数を切り換えられます。
-  をタッチすると、「画像を共有する」(□91) の手順3の画面が表示されます。アプリケーションのサポートに従って、操作してください。
- コメントを共有したい場合は、1コマ表示からの手順で共有してください (□91)。



コメント付き画像についてのご注意

アプリケーションによっては、[画像+コメント] を選んでも、コメントを共有できない場合があります。

NIKON IMAGE SPACEアプリケーションについて

このカメラには、ニコンの画像共有・保存サービス「NIKON IMAGE SPACE」のアプリケーションがインストールされています。画像の共有や保存にご利用ください。

インターネットを利用する

パソコンと同じようにブラウザを使ってインターネット上の情報を閲覧できます。

- ホーム画面で  (ブラウザ) をタッチします (□80)。
- ブラウザ画面上部のアドレスバーをタッチすると、URL や検索ワードを入力できます。

Google Playストアを利用する（アプリケーションの入手）

1 ホーム画面で [Playストア] をタッチする

- Google Playストアをはじめて開くと利用規約が表示されます。

2 アプリケーションを選び、画面の指示に従ってダウンロードする

- アプリケーションはカテゴリーやキーワードで検索できます。
- アプリケーションを選ぶときは、説明やレビューなどの情報を確認します。

アプリケーションのインストールについてのご注意

- アプリケーションのインストールは安全であることをご確認の上、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破損などが発生する可能性があります。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、万一、カメラに不具合が生じた場合や、自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- このカメラは、すべてのアプリケーションの動作を保証するものではありません。詳しくはアプリケーションの開発元へお問い合わせください。
- ダウンロードした撮影アプリケーションは、このカメラの機能を十分に発揮できないことがあります。

プリインストールのアプリケーションについて

お買い上げ時には、各種アプリケーションがインストールされています。このカメラに搭載されているGoogle Inc.提供の各種アプリケーションについての詳細は、下記サイトからご覧になれます。なお、下記サイトは、アプリケーション開発元であるGoogle Inc.にて管理されており、サイト構成は予告なく変更される可能性があります。

<http://www.google.com/support/mobile/?hl=ja>

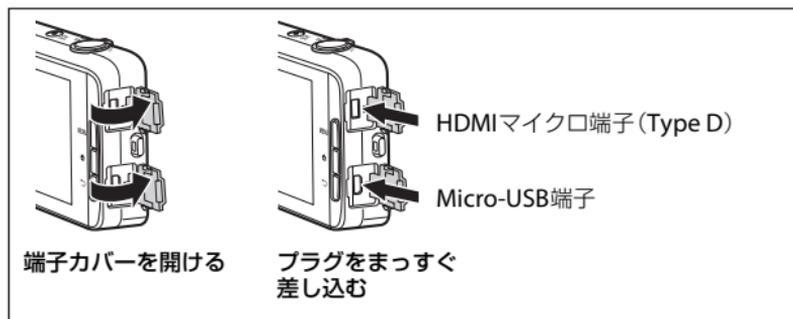
ヘッドセット（ヘッドホンマイク）のご利用について

このカメラは、ヘッドセットに対応しています。市販のヘッドセットをカメラのヘッドセット端子に接続してご利用ください（□□2）。

テレビ、パソコンとの接続

カメラとの接続方法

テレビ、パソコンに接続すると、撮影した画像や動画をいろいろな方法で楽しむことができます。



- 外部機器と接続するときは、カメラの電池残量が充分にあることを確認してください。
- 別売のACアダプター EH-67Aを使うと、家庭用コンセントからこのカメラへ電源を供給できます。EH-67A以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- 接続方法や接続後の操作方法については、各機器の説明書もあわせてお読みください。

テレビで鑑賞する



撮影した画像や動画をテレビに映して鑑賞できます。
接続方法：市販のHDMIケーブルを、テレビのHDMI入力端子に接続します。

- テレビと接続するときは、必ずカメラの電源を **OFF** にしてから接続してください。接続を外すときは、カメラの電源を **OFF** にしてからプラグを外してください。

パソコンで閲覧、管理する



パソコンに画像を取り込んで、簡易編集や画像データの管理ができます。

接続方法：付属のUSBケーブルをパソコンのUSB端子に接続し、カメラの画面で **[USBストレージをONにする]** をタッチします。接続の解除方法など、詳しくは「パソコンに画像を取り込む」(□97)の手順1および手順3をご覧ください。

- パソコンと接続する前に、**ViewNX 2** をパソコンにインストールしてください (□96)。
- パソコンから電源を供給するタイプの他の **USB** 機器がパソコンに接続されているときは、接続する前にそれらの機器をパソコンから取り外してください。同時に接続すると動作に不具合が発生したり、パソコンからの供給電力が過大になり、カメラ、カードなどが壊れるおそれがあります。
- パソコンと接続するときは、カメラの電源を **ON** にしてください。

✓ パソコン接続時のご注意

カメラとパソコンを接続して、**USBストレージをON**に設定している間は、カメラの電源は**OFF**にできません。また、以下の機能が使えません。

- 撮影および再生機能は使えません。
- スタンバイモードにはなりません (□31)。電源スイッチを押すと画面オフの状態にできます。
- 電源スイッチの長押しメニューは使えません (□3)。
- **Android OS**の設定メニュー **[バックアップとリセット]** (□87) の **[再起動]** は選べません。

USBストレージをOFFにするには、**⬆**ボタンを押してホーム画面に切り換え、通知シェードを表示して **[USBストレージをOFFにする]** をタッチします (□81)。

ViewNX 2を使う

ViewNX 2は、画像や動画の転送、閲覧、編集、共有、これら全てを可能とするオールインワンソフトです。

写真を楽しむ工具箱

ViewNX 2™



ViewNX 2をインストールする

- ・ インストールにはインターネットに接続できる環境が必要です。
- ・ 対応 OS に関する最新情報、動作環境の詳細は、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

1 パソコンを起動して、下記のアドレスからViewNX 2のインストーラーをダウンロードする

<http://nikonimglib.com/nvnx/>

2 ダウンロードしたインストーラーのファイルをダブルクリックする

3 画面の指示に従ってインストールする

以下のソフトウェアがインストールされます。

- ・ ViewNX 2（以下の3つのモジュールで構成されています）
 - Nikon Transfer 2：画像をパソコンに取り込みます
 - ViewNX 2：取り込んだ画像の閲覧、編集、印刷ができます
 - Nikon Movie Editor：取り込んだ動画の簡易編集ができます

4 インストールを終了する

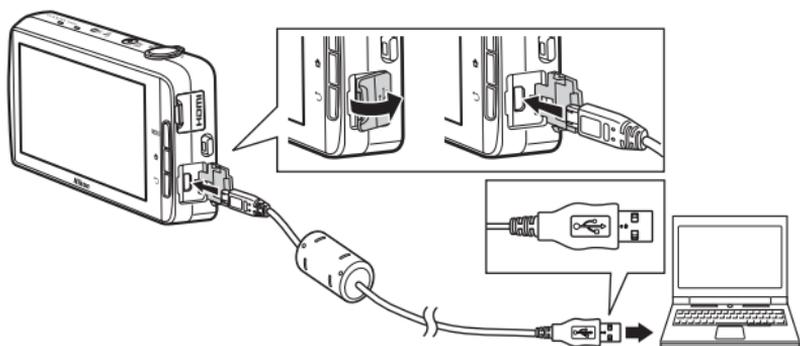
- Windows：[はい] をクリックします。
- Mac OS：[OK] をクリックします。

パソコンに画像を取り込む

1 画像の入ったカードを用意する

カード内の画像は、次の方法でパソコンに取り込みます。

- カードを入れたカメラの電源をONにしてから、付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続し、カメラの画面で[USBストレージをONにする]をタッチする。



- カードスロットを装備したパソコンのときは、カードスロットに直接カードを差し込む。
 - 市販のカードリーダーをパソコンに接続して、カードをセットする。
- 起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2 を選びます。

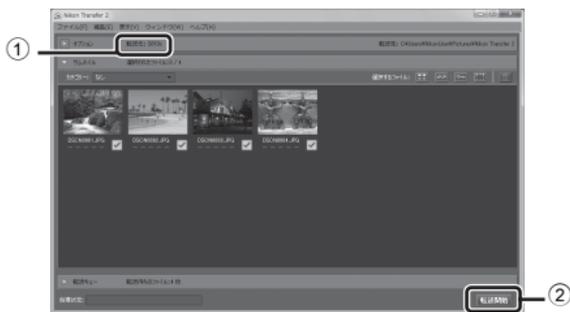
カード内に大量の画像があると、Nikon Transfer 2の起動に時間がかかる場合があります。Nikon Transfer 2が起動するまでお待ちください。

✔ USBケーブル接続についてのご注意

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

2 画像をパソコンに取り込む

- Nikon Transfer 2の【オプション】の【転送元】に、接続したカメラ内の記録媒体（カードと内蔵メモリー）またはリムーバブルディスクのデバイス名が表示されていることを確認します（①）。
 - カメラとパソコンを接続したときは、転送したい画像がある記録媒体（カードまたは内蔵メモリー）を選んでください。
- 【転送開始】ボタンをクリックします（②）。
 - カメラ内の記録媒体（カードと内蔵メモリー）の画像を続けて転送したときは、【環境設定】の【転送後、接続を自動的に解除する】のチェックを外してから、【転送開始】ボタンをクリックしてください。



- 記録されているすべての画像がパソコンに取り込まれます（ViewNX 2の初期設定）。画像にコメントが付いているときは、コメントも同時に取り込まれます（□32）。
 - 【転送後、接続を自動的に解除する】のチェックを外しているときは、1つの記録媒体から転送が終了すると、Nikon Transfer 2が自動的に終了してViewNX 2が起動します。続けて別の記録媒体から画像を転送したい場合は、ViewNX 2のツールバーから【Transfer】ボタンをクリックして、Nikon Transfer 2を起動させて、もう一度、画像をパソコンに取り込んでください。

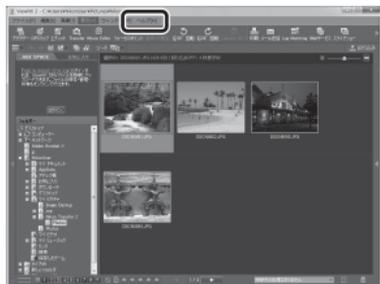
3 接続を解除する

- カメラを接続している場合は、次の操作で接続を解除してください。
 - パソコンでリムーバブルディスクの取り外しをする。
 - カメラの画面で **[USBストレージをOFFにする]** をタッチする。
[USBストレージをOFFにする] が表示されていないときは、ホーム画面の通知シェードから選べます (□81)。
 - USBケーブルを取り外す。
- カードリーダーやカードスロットをお使いの場合は、パソコン上でリムーバブルディスクの取り外しを行ってから、カードリーダーまたはカードを取り外してください。

画像を見る

ViewNX 2 を起動する

- 画像の取り込みが終わると、ViewNX 2 が自動的に起動し、取り込んだ画像が表示されます。
- ViewNX 2 の詳しい使い方は、ViewNX 2 のヘルプを参照してください。



ViewNX 2 を手動で起動するには

- Windows : デスクトップの **[ViewNX 2]** のショートカットアイコンをダブルクリックします。
- Mac OS : Dock の **[ViewNX 2]** アイコンをクリックします。



A series of horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for handwriting practice.



付録、索引

取り扱い上のご注意	☼:2
カメラについて	☼:2
電池について	☼:3
本体充電 AC アダプターについて	☼:5
メモリーカードについて	☼:5
お手入れ方法	☼:6
クリーニングについて	☼:6
保管について	☼:6
故障かな?と思ったら	☼:7
主な仕様	☼:14
推奨カード	☼:18
索引	☼:21
ニコンプラザ、サービスセンターのご案内	☼:28
アフターサービスについて	☼:29

取り扱い上のご注意

カメラについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□vi~xii)をお守りください。

● 強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりすると、故障の原因になります。また、レンズに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 水に濡らさないでください

カメラ内部に水が入ると、部品がサビつくなど修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えないでください

温度差が極端な場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆の場合）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に結露が生じ、故障の原因になります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使ってください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は、撮像素子などの褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際に撮影した画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● 電池やACアダプターやメモリーカードを取り外すときは、必ず電源をOFFにしてください

電源がONの状態を取り外すと、故障の原因になります。特に、撮影中やデータの削除中は、データの破損やカードの故障の原因になります。

● 液晶モニターについて

- ・ モニター画面（電子ビューファインダー含む）は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- ・ 屋外では液晶モニターは、日差しの影響で見えにくいことがあります。
- ・ 液晶モニターの表面を強くこすったり、強く押ししたりすると、破損や故障の原因になります。万一、液晶モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますのでご注意ください。

電池について

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□vi~xii)をお守りください。

● 使用上のご注意

- 使用後の電池は、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 周囲の温度が0℃~40℃の範囲を超える場所で使うと、性能劣化や故障の原因になります。
- 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたら、すぐに使用を中止して、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、必ず付属の端子カバーを付けてください。

● 充電について

撮影の前に充電してください。付属の電池は、ご購入時にはフル充電されておりません。

- 周囲の温度が5℃~35℃の室内で充電してください。
- 電池内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になったりし、性能劣化の原因にもなります。カメラの使用直後など、電池内部の温度が高くなっているときは、電池の温度が下がるのを待ってから充電してください。

電池の温度が0℃以下、60℃以上のときは、充電をしません。

電池の温度が45℃~60℃のときは、充電できる容量が減ることがあります。

- 充電が完了した電池を、続けて再充電すると、性能が劣化します。
- 充電直後に電池の温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。

● 予備電池を用意する

撮影環境に応じて、予備電池をご用意ください。地域によっては入手が困難な場合があります。

● 低温時には残量のじゅうぶんな電池を使い、予備電池も用意する

電池は一般的な特性として、性能が低温時に低下します。低温時には、電池およびカメラを冷やさないようにしてください。消耗した電池を低温時に使うと、カメラが動かないこともあります。予備の電池は保温し、交互にあなたためながらお使いください。低温で一時的に使えなかった電池も、常温に戻ると使える場合があります。

● 電池の接点について

電池の接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがあります。接点の汚れは、乾いた布で拭き取ってください。

● 残量のなくなった電池は充電する

残量のなくなった電池をカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返すと、電池の寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなった電池は、充電してからお使いください。

● 保管について

- 電池を使わないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。取り付けただままにすると、電源を切っても微小電流が流れ続けて過放電状態になり、使えなくなることがあります。
- 電池は、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。
- 電池は、付属の端子カバーを付けて、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥した場所をおすすめします。暑い場所や極端に寒い場所は避けてください。

● 寿命について

電池をじゅうぶんに充電しても、使用期間が極端に短くなってきたときは、寿命です。新しい電池をお買い求めください。

● リサイクルについて

充電を繰り返して劣化し、使えなくなった電池は、廃棄しないでリサイクルにご協力ください。接点部にビニールテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。



Li-ion00

数字の有無と数値は、電池によって異なります。

本体充電ACアダプターについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□vi~xii)をお守りください。

- 本体充電ACアダプター EH-71Pに対応している機器以外で使わないでください。
- UC-E21以外のUSBケーブルは絶対に使わないでください。発熱、火災、感電の原因になります。
- EH-71P以外の本体充電ACアダプター、市販のUSB-ACアダプター、携帯電話用充電器は絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- EH-71Pは、家庭用電源のAC 100 ~ 240 V、50/60 Hzに対応しています。日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などで確かめのうえ、お買い求めください。

メモリーカードについて

● 使用上のご注意

- メモリーカードは、microSDHC/microSDXCカード以外は使えません。推奨カード→18
- お使いになるときは、必ずメモリーカードの説明書の注意事項をお守りください。
- ラベルやシールを貼らないでください。

● 初期化について

- カードをパソコンで初期化（フォーマット）しないでください。
- 他の機器で使ったカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。未使用のカードは、このカメラで初期化してからお使いになるようおすすめします。
- カードを初期化すると、カード内のデータは、すべて削除されます。初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- 初期化中、画像の記録中や削除中、パソコンとの通信中などに以下の操作をすると、データの破損やカードの故障の原因になります。
 - 電池カバーを開けて、電池を脱着する
 - カードカバーを開けて、カードを脱着する
 - カメラの電源をOFFにする
 - ACアダプターを外す

お手入れ方法

クリーニングについて

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使わないでください。

レンズ

ガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないようご注意ください。ゴミやホコリはブローアードで吹き払ってください。ブローアードで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどでガラス部分の中央から外側に円を描くようにゆっくりと拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。汚れが取れないときは、レンズクリーナー液（市販）で湿らせた柔らかい布で軽く拭いてください。

液晶モニター

ゴミやホコリはブローアードで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。

カメラボディ

- ・ ゴミやホコリはブローアードで吹き払ってください。乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。
- ・ 海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。

ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因になります。この場合、当社の保証の対象外になります。

保管について

カメラを長期間お使いにならないときは、電池を取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、「月に一度」を目安に電池を入れ、カメラを操作するようおすすめします。

カメラを以下の場所に保管しないようご注意ください。

- ・ 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- ・ テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- ・ 温度が50℃以上、または-10℃以下の場所
- ・ 湿度が60%を超える場所

電池の保管は、「取り扱い上のご注意」の「電池について」の「● 保管について」(P.4)をお守りください。

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

電源・表示・設定関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
電源ONの状態、カメラの操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> 画像や動画の記録などの処理が終わるまでお待ちください。 操作できない状態が続くときは、電源をOFFにする操作をしてください。電源がOFFにならない場合は、電池を入れ直してください。 ACアダプター使用時は付け直してください。 <ul style="list-style-type: none"> - 記録中であったデータは保存されません。 - 保存済みのデータは電池やACアダプターの取り外しでは失われません。 	— 30
カメラ内の電池を充電できない	プラグの接続状態を確認してください。	12
電源をONにできない	<ul style="list-style-type: none"> 電池残量がありません。 	12、18
カメラの電源が突然切れる	<ul style="list-style-type: none"> シャットダウンタイマーで電源がOFFになりました。 カメラの内部が高温になっています。温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。 低温下ではカメラや電池が正常に動作しないことがあります。 電池残量がなくなりました。 	31 18 🔧3 12、18
液晶モニターに何も映らない	<ul style="list-style-type: none"> 電源が入っていません。 節電機能により画面オフ状態またはスタンバイ状態になっています。電源スイッチを短押ししてください。 	18 31
カメラの温度が高くなる	動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなる場合がありますが、故障ではありません。	—
液晶モニターがよく見えない	<ul style="list-style-type: none"> 液晶モニターの明るさを調整してください。 液晶モニターが汚れています。 	86 🔧6

こんなときは	考えられる原因や対処法	
撮影日時が正しく表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 日時を設定していない場合は(撮影時に日時未設定マークが点滅している)、静止画の撮影日時が「0000/00/00 00:00」と表示されます。動画の撮影日時は表示されません。Android OS の設定メニュー「日付と時刻」で日時を正しく設定してください。 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くないので、定期的に日時の設定を行うことをおすすめします。 	17 17
撮影情報や画像情報が表示されない	セットアップメニュー「 モニター設定 」の「 モニター表示設定 」が「 情報オート 」になっています。	77
「 デート写し込み 」が選べない	Android OS の設定メニュー「 日付と時刻 」が設定されていません。	17
「 デート写し込み 」を有効にしたのに、日付が写し込まれない	<ul style="list-style-type: none"> 「デート写し込み」が制限される他の機能が設定されています。 日付を写し込めない撮影モードになっています。 動画には写し込みできません。 	59 — —
設定内容が初期状態に戻ってしまった	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。	17
Wi-Fi (無線LAN) 機能がOFFになりONにできない	<ul style="list-style-type: none"> まれに Wi-Fi (無線 LAN) 機能が突然 OFF になり、接続が切断されることがあります。 カメラを再起動をしてから Wi-Fi (無線 LAN) 設定を ON にしてください。 	3、87
カメラから音がする	「 AFモード 」の「 常時AF 」時や、選んだ撮影モードによっては、オートフォーカスの動作音が聞こえることがあります。	75

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影できない	<ul style="list-style-type: none"> 再生モードになっているとき、設定項目やセットアップメニューが表示されているときは、シャッターボタンを押してください。 電池残量がありません。 フラッシュ表示が点滅しているときは、フラッシュの充電中です。 	26 18 47
撮影モードにできない	<ul style="list-style-type: none"> HDMI ケーブルを外してください。 USB ストレージを OFF にしてください。 	94 95
ピントが合わない	<ul style="list-style-type: none"> 被写体との距離が近すぎます。マクロモード、らくらくオート撮影モードまたはシーンモードの [クローズアップ] での撮影をお試しください。 オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。 セットアップメニュー [AF 補助光] を [オート] にしてください。 電源を入れ直してください。 	34、39、51 62 77 18、30
画像がぶれる	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュを使ってください。 ISO 感度を上げて撮影してください。 手ブレ補正機能を使ってください。 BSS (ベストショットセレクト) を使ってください。 三脚などでカメラを安定させてください (セルフタイマーを併用すると、より効果的です)。 	47 56 77 — 49
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュモードを  (発光禁止) にしてください。	47
フラッシュが発光しない	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュモードが  (発光禁止) になっています。 フラッシュが発光しないシーンモードになっています。 撮影モードが動画になっています。 フラッシュが制限される他の機能が設定されています。 	48 53 72 57

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖	
電子ズームが使えない	<ul style="list-style-type: none"> ・ セットアップメニュー [電子ズーム] が [しない] になっています。 ・ 以下の場合は電子ズームが使えません。 <ul style="list-style-type: none"> - シーンモードが [ポートレート]、[夜景ポートレート]、[逆光] ([HDR] が [する] 時)、[かんたんパノラマ] または [ペット] のとき - ベストフェイスモードのとき - タッチ撮影が [ターゲット追尾] のとき - [連写] の設定が [マルチ連写] のとき 	77 37 44 56 56	
	[画像モード] が選べない	[画像モード] が制限される他の機能が設定されています。	57
	シャッター音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> ・ セットアップメニュー [シャッター音] が [なし] になっています。 [あり] にしていても、撮影モードや設定によってはシャッター音が鳴りません。 ・ スピーカーをふさがないでください。 	77 2、22
	AF補助光が発光しない	セットアップメニュー [AF補助光] が [なし] になっています。 [オート] に設定していても、AFエリアの位置やシーンモードによっては点灯しない場合があります。	77
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	🔍6	
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスが選ばれていません。	56	
画像がざらつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO感度が高くなっています。 <ul style="list-style-type: none"> ・ フラッシュを使ってください。 ・ 低いISO感度にしてください。 	47 56	
画像が暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> ・ フラッシュモードが  (発光禁止) になっています。 ・ フラッシュが指などでさえぎられています。 ・ 被写体にフラッシュの光が届いていません。 ・ 露出を補正してください。 ・ ISO感度を上げてください。 ・ 逆光で撮影しています。シーンモードの [逆光] にするか、フラッシュモードを  (強制発光) にしてください。 	47 22 51 52 56 40、47	
画像が明るすぎる	露出を補正してください。	52	

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
赤目以外の部分が補正された	📷 (赤目軽減自動発光) や、シーンモードの [夜景ポートレート] の赤目軽減スローシンクロ強制発光でフラッシュ撮影すると、ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。[夜景ポートレート] 以外の撮影モードで、フラッシュモードを📷 (赤目軽減自動発光) 以外にして撮影してください。	39、48
美肌の効果が得られない	<ul style="list-style-type: none"> 撮影条件によっては、美肌効果が適切に得られないことがあります。 4人以上の顔を撮影した画像は、画像編集の [美肌] をお試しください。 	62 70
画像の記録に時間がかかる	<p>以下の場合、画像の記録に時間がかかることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ノイズ低減機能が作動したとき フラッシュを📷 (赤目軽減自動発光) にして撮影したとき シーンモードの [逆光] ([HDR] が [する] 時) で撮影したとき 美肌機能で撮影したとき 	— 48 40 56
画面や撮影画像にリング状の帯や虹色の縞模様が見える	逆光撮影や、太陽などの非常に強い光源が画面内にある撮影では、リング状の帯や虹色の縞模様 (ゴースト) 等が写し込まれることがあります。光源の位置を変えるか、光源を画面内に入れずに撮影をお試しください。	—
一部機能が使用できない	<ul style="list-style-type: none"> Android OS の起動が完了するまでの間は、撮影可能コマ数が制限され、撮影に関する設定ができません。しばらく待ってから撮影や設定をしてください。 ダウンロードした撮影アプリケーションは、このカメラの機能を十分に発揮できないことがあります。 	19 93

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
再生できない	<ul style="list-style-type: none"> このカメラ以外で記録した画像は、再生できないことがあります。 このカメラ以外で記録した動画は、再生できません。 パソコンで加工したデータは、再生できないことがあります。 	—
画像の拡大表示ができない	<ul style="list-style-type: none"> このカメラ以外で撮影した画像は、拡大できないことがあります。 動画やスモールピクチャー画像は拡大表示できません。 	—
画像編集ができない	<ul style="list-style-type: none"> 画像によっては編集できません。編集で作成した画像は、再編集できないことがあります。 内蔵メモリー / カードに空き容量がありません。 このカメラ以外で撮影した画像は編集できません。 動画は、画像編集できません。 	70 — 70 —
コメントを追加 / 編集できない	<ul style="list-style-type: none"> プロテクト設定した画像です。プロテクトを解除してください。 内蔵メモリー / カードに空き容量がありません。 	28、33、70
コメントを削除できない	<ul style="list-style-type: none"> ✎ (編集) 機能でコメントの文字を全て削除した場合は、編集を終了できません。コメントを削除したいときは、✂ (削除) 機能で削除してください。 	33
タイムラインを編集できない	内蔵メモリー / カードに空き容量がありません。	28、66
画像がテレビに映らない	<ul style="list-style-type: none"> セットアップメニューの [HDMI] が正しく設定されていません。 HDMIケーブルとUSBケーブルの両方が接続されています。 画像が記録されていないカードが入っています。カードを交換してください。内蔵メモリーの画像を再生するときはカードを取り出してください。 	77 94、97 14

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
カメラをパソコンに接続しても、Nikon Transfer 2 が自動起動しない	<ul style="list-style-type: none"> カメラの電源が OFF になっています。 電池残量がありません。 USB ケーブルが正しく接続されていません。 対応 OS を確認してください。 パソコンにカメラが正しく認識されていません。 ViewNX 2 のヘルプをご覧ください。 	18 12、18 97 96 97 99
画像を正しいアスペクト比（横：縦）でプリントできない。	<p>[画像モード] を  [4608×2592]、 [1920×1080] または  [3456×3456] にして撮影した画像をプリントすると、画像の端が削られて全体がプリントできないことや、正しいアスペクト比でプリントできないことがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> プリンターの設定を「フチあり」にしてください。詳しくは、お使いのプリンターの説明書をご確認ください。 他の [画像モード] にして撮影してください。 	— — 56
パノラマ写真をプリントできない	パノラマ写真はプリンターの設定によっては、全景をプリントできないことがあります。また、プリンターによっては、プリントできないことがあります。詳しくは、お使いのプリンターの説明書またはプリントサービス店などでご確認ください。	—

その他

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画面ロックが解除できない	<ul style="list-style-type: none"> 画面ロックの解除方法が間違っています。解除方法を確認してください。 画面ロックの解除方法を忘れた場合は、画面ロックの解除ができません。ニコンサービス機関にお問い合わせください。 	79

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX S810c

型式	コンパクトデジタルカメラ
有効画素数	1602万画素
撮像素子	1/2.3型原色CMOS、総画素数1679万画素
レンズ	光学12倍ズーム、NIKKORレンズ
焦点距離	4.5-54.0 mm (35 mm判換算25-300 mm相当の撮影画角)
開放F値	f/3.3-6.3
レンズ構成	7群9枚 (EDレンズ1枚)
電子ズーム倍率	最大4倍 (35 mm判換算で約1200 mm相当の撮影画角)
手ブレ補正機能	レンズシフト方式と電子式の併用 (静止画) レンズシフト方式 (動画)
ブレ軽減機能	モーション検知 (静止画)
オートフォーカス	コントラスト検出方式
撮影距離範囲	<ul style="list-style-type: none">・ 先端レンズ面中央から約 50 cm ~∞ (広角側)、約 1.5 m ~∞ (望遠側)・ マクロモード時は先端レンズ面中央から約 2 cm ~∞ (広角側)
AFエリア	顔認識オート、オート (9点)、中央、マニュアル (タッチパネルでAFエリアを選択可能)、ターゲット追尾、ターゲットファインドAF
画像モニター	3.7型ワイドTFT液晶 (タッチパネル)、反射防止コート付き、約122.9万ドット、輝度調節機能付き (9段階)
視野率 (撮影時)	上下左右とも約98% (対実画面)
視野率 (再生時)	上下左右とも約100% (対実画面)
記録方式	
記録媒体	<ul style="list-style-type: none">・ 内蔵メモリー 画像保存領域：約 1.1 GB アプリケーション保存領域：約 1 GB (地域によって異なります)・ microSDHC/microSDXC カード
対応規格	DCF、Exif 2.3、DPOF準拠
ファイル形式	静止画：JPEG コメント：TXT 動画：MOV (映像：H.264/MPEG-4 AVC、音声：LPCM ステレオ)

記録画素数 (画像モード)	<ul style="list-style-type: none"> • 16M (高画質) [4608 × 3456 ★] • 16M [4608 × 3456] • 8M [3264 × 2448] • 4M [2272 × 1704] • 2M [1600 × 1200] • VGA [640 × 480] • 16 : 9 (12M) [4608 × 2592] • 16 : 9 (2M) [1920 × 1080] • 1 : 1 (12M) [3456 × 3456]
ISO感度 (標準出力感度)	<ul style="list-style-type: none"> • ISO 125 ~ 1600 • ISO 3200 (オート撮影モード時に設定可能)
露出	
測光モード	マルチパターン測光、中央部重点測光 (電子ズームが2倍未満のとき)、スポット測光 (電子ズームが2倍以上のとき)
露出制御	プログラムオート、露出補正 (±2段の範囲で1/3段刻み) 可能
シャッター方式	メカニカルシャッターとCMOS電子シャッターの併用
シャッタースピード	<ul style="list-style-type: none"> • 1/2000 ~ 1秒 • 1/4000秒 (高速連写時の最高速) • 4秒 (シーンモードの [打ち上げ花火])
絞り	電磁駆動によるNDフィルター(-2 AV)選択方式
制御段数	2 (f/3.3、f/6.6 [広角側])
セルフタイマー	約10秒、約2秒
フラッシュ	
調光範囲 (ISO感度設定オート時)	約0.5 ~ 5.5m (広角側) 約1.0 ~ 3.0m (望遠側)
調光方式	モニター発光によるTTL自動調光
インターフェース	Hi-Speed USB相当
通信プロトコル	Mass Storage
HDMI出力	オート、480p、720p、1080iから選択可能
入出力端子	ヘッドセット端子、Micro-USB端子、HDMIマイク 口端子 (Type D)
GPS	受信周波数 1575.42 MHz (C/Aコード)、測地系 WGS 84

カメラメニュー表示言語

チェコ語、デンマーク語、ドイツ語、英語、スペイン語、ギリシャ語、フランス語、インドネシア語、イタリア語、ハンガリー語、オランダ語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語（ブラジル、ポルトガル）、ロシア語、ルーマニア語、フィンランド語、スウェーデン語、ベトナム語、トルコ語、ウクライナ語、アラビア語、中国語（繁体、簡体）、ヒンディー語、日本語、タイ語

電源

Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL23（リチウムイオン充電電池：付属）×1個
ACアダプター EH-67A（別売）

充電時間

約3時間45分（本体充電ACアダプター EH-71P使用時、残量の少ない状態からの充電時間）

電池寿命※¹**静止画撮影時**

約270コマ（EN-EL23使用時）

動画撮影時（実撮影電池寿命）※²

約1時間10分（EN-EL23使用時）

三脚ネジ穴

1/4 (ISO 1222)

寸法

（幅×高さ×奥行き）

約113×63.5×27.5 mm（突起部除く）

質量

約216 g（電池、カード含む）

動作環境**使用温度**

0℃～40℃

使用湿度

85%以下（結露しないこと）

Wi-Fi（無線LAN）**準拠規格**

IEEE 802.11b/g/n（無線LAN標準プロトコル）
WPS 2.0（Wi-Fi Alliance準拠）
ARIB STD-T66（小電力データ通信システム規格）

伝送方式

IEEE 802.11b：DBPSK、DQPSK、CCK
IEEE 802.11g：OFDM
IEEE 802.11n：OFDM

通信距離

約60 m

使用周波数範囲（中心周波数）

2412～2462 MHz（1～11チャンネル）

データ転送速度（実測値）

IEEE 802.11b：5 Mbps
IEEE 802.11g：20 Mbps
IEEE 802.11n：25 Mbps

セキュリティ

WPA/WPA2/WEP

アクセス方式

インフラストラクチャーモード

システム	
プロセッサ	Cortex-A9
メモリー	ROM : 約4 GB RAM : 約1 GB
オペレーティングシステム	Android 4.2.2

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA（カメラ映像機器工業会）規格による温度条件23℃（±3℃）で、フル充電電池使用時のものです。
- ※1 電池寿命は、撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などの使用状況によって異なります。
- ※2 動画の連続撮影可能時間（1回の撮影で記録可能な時間）は、カードの残量が多いときでもファイルサイズ4GBまで、または最長29分までです。カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL23

形式	リチウムイオン充電電池
定格容量	DC 3.8 V、1850 mAh
使用温度	0℃ ~ 40℃
寸法 (幅×高さ×奥行き)	約 34.9×47×10.5 mm
質量	約 34 g (端子カバーを除く)

本体充電ACアダプター EH-71P

電源	AC 100 ~ 240 V、50/60 Hz、MAX 0.2 A
定格入力容量	10.5 ~ 15.5 VA
定格出力	DC 5.0 V、1.0 A
使用温度	0℃ ~ 40℃
寸法 (幅×高さ×奥行き)	約 55×22×54 mm
質量	約 48 g

説明書について

- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の的外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

推奨カード

下記のカードの動作を確認しています。

- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。

	microSDHCカード ※ ¹	microSDXCカード ※ ²
SanDisk	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
TOSHIBA	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	—
Panasonic	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	—
Lexar	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	—

※1 SDHC 規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDHC規格に対応している必要があります。



※2 SDXC 規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDXC規格に対応している必要があります。



- 上記カードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、カードメーカーにお問い合わせください。その他のメーカー製のカードは、動作の保証をいたしかねます。
- 容量が64 GBを超えるカードは使用できません。

AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

(i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）

(ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

<http://www.mpegla.com>をご参照ください。

MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

(i) MPEG-4 Visual規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをMPEG-4ビデオといいます）

(ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたMPEG-4ビデオ、またはMPEG-4ビデオを供給することについてMPEG LAよりライセンスを受けている供給者から入手したMPEG-4ビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

プロモーション、社内用、営利目的などの用途に使用する場合など、その他の詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

<http://www.mpegla.com>をご参照ください。

オープンソースソフトウェアについて

本製品はGNU General Public License(GPL) , GNU Library/Lesser General Public License (LGPL) 及び/またはその他著作権ライセンス、免責条項、ライセンス通知の適用を受ける第三者のソフトウェアを含みます。GPL、LGPL及びその他ライセンス、免責条項及びライセンス通知の具体的な条件については「端末情報」から参照頂けます。

ニコンは100-8331 東京都千代田区有楽町1-12-1（新有楽町ビル）株式会社ニコン 映像カンパニー宛て書面による要求があった場合、GPL、LGPL又はその他のソースコードの配布を要求しているオープンソースライセンスのもとでライセンスされているソフトウェアのソースコードにつき、配布のための必要な費用（メディア費用、物流費用、取り扱い費用等）を負担頂くことを条件に、CD-ROMにて配布を致します。上記ソースコードの提供の申し出は、本製品がニコンより販売されてから3年間有効なものとしします。

商標説明

- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- MacintoshおよびMac OSは、Apple Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- microSDHCロゴおよびmicroSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

HDMI

- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- Google™、Google ロゴ、Android™、Android ロゴ、Google Play™、Google Play ロゴ、Gmail™、Google Calendar™、Google Chrome™、Google+™、Google マップ™、Google latitude™、Picasa™およびYouTube™は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- その他記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

索引

マーク・英数

らくらくオート撮影	34
オート撮影モード	20、35
シーンモード	37
スペシャルエフェクトモード	42
ベストフェイスモード	44
動画	72
セットアップメニュー	77
望遠ズーム	23
W 広角ズーム	23
サムネイル表示	1、65
Q 拡大	1、64
ヘルプ	38
バックボタン	2
ホームボタン	2、79
MENU メニューボタン	2、55、70、75、77、82
1 コマ表示	26
24 時間表示	17
AF エリア	6、56、60
AF エリア選択	56
AF 表示	7、24
AF 補助光	77
AF モード	75
Android OS	79
D- ライティング	70
EH-71P	12
EN-EL23	10、12
Google Play ストア	80、93
Google アカウント	16、90
Google 検索バー	82
GPS 機能	78、86
HDMI	77、94
HDMI ケーブル	94
HDMI マイクロ端子	1、94
HDR	40
HS 動画	75
ISO 感度設定	56

Li-ion リチャージャブルバッテリー	10、12
Micro-USB 端子	1、12、94、97
Nikon Transfer 2	96、97
SD カード内データを消去	14、86
Timeline view 登録 / 解除	70
USB ケーブル	12、94、97
ViewNX 2	95、96
Wi-Fi	86、88
Wi-Fi 設定	16、88

ア

アカウントを追加	87、90
赤目軽減自動発光	48
アプリケーション	80、86、91、93
位置情報アクセス	86
位置情報記録機能	78
位置情報消去	70
インターネット	88、92
打ち上げ花火	37、39
笑顔自動シャッター	56
液晶モニター	2、6、
オート撮影メニュー	55
オート撮影モード	20、35
オートフォーカス	62、75
オートフォーカスモード	75
オープニング画面	77
オプションメニュー	82
音声入力	32、85
音量	71、76

カ

カード	14、
カードカバー	2、14
カードスロット	14
顔認識	61
顔認識撮影	61
拡大表示	64
風切り音低減	75
画像回転	70

画像コピー	71	時刻設定	17
画像サイズ	56	自動発光	48
画像編集	70	絞り値	25
画像モード	56	シャッター音	77
画面オフ	31、86	シャッタースピード	25
画面の明るさ	86	シャッターボタン	24
画面の切り換え	81	シャットダウンタイマー	31、86
画面の自動回転	9、86	充電器	13
画面のロック	79、87	常時 AF	75
かんたんパノラマ 	37、40	初期化	14、87
かんたんパノラマ再生	40	シングル AF	75
簡単レタッチ	70	ズームレバー	1、23
キーボード	32、83	スクロール再生	40
機内モード	86	スタンバイ	31
逆光 	37、40	ステータスバー	81
強制発光	48	ストラップ	2
共有	91	ストラップ取り付け部	1
記録可能コマ数	18	スピーカー	2
クイック設定	81	スペシャルエフェクトモード	42
組み合わせて使えない機能	57	スポーツ 	37、39
クリエイティブスライダー	36	スモールピクチャー	70
クローズアップ 	37、39	スライドショー	69、70
クロスプロセス 	42	スローシンクロ	48
言語	87	スローモーション撮影	75
広角ズーム	23	接写	51
光学ズーム	23	設定クリアー	78
硬調モノクローム 	42	セットアップメニュー	77
極彩色 V1	42	セルフタイマー	49
コメント	24、32、66、91	セルフタイマーランプ	1、44、50
		セレクトカラー 	42
		ソフト SOFT	42

サ

再起動	3、87
再生	26、40、76
再生メニュー	70
再生モード	26
削除	28、70
撮影	20、22、24
撮影後の画像表示	77
撮影メニュー	56
撮影モード	20
サムネイル表示	65
三脚ネジ穴	2
シーンエフェクト	38
シーンモード	37、39

タ

ターゲット追尾	56
ターゲットファインド AF	56、60
タイトル編集	69
ダイナミックファインズーム	23
タイムゾーンの選択	17
タイムラインビュー	66
タイムラインメニュー	69
タッチ	4
タッチ AF/AE	56
タッチ撮影	56、75
タッチシャッター	56

タッチ操作音.....	86	ビーチ 	37
端子カバー.....	1	日付形式の選択.....	17
単写.....	56	日付設定.....	17
端末情報.....	87	日付と時刻.....	17、87
通知シェード.....	81	日付の写し込み.....	77
データ使用.....	86	日付のプリント.....	25
データの初期化.....	87	美肌.....	70
デート写し込み.....	77	美肌機能.....	62
テキストの編集.....	84	美肌効果.....	56
手ブレ補正.....	77	表示順.....	69
テレビ.....	94	ピント.....	24、60
電源.....	18、30	フィルター効果.....	70
電源スイッチ.....	1、3、16、18、30	風景 	37
電源ランプ.....	1、13	フォーカスロック撮影.....	63
電子ズーム.....	23、77	フラッシュ.....	47
電池.....	10、12、17、86	フラッシュモード.....	47、48
電池カバー.....	2、10	フリック.....	5
電池残量表示.....	18	プリント指定.....	70
電池ロックレバー.....	10	プロテクト設定.....	70
トイカメラ風 1 	43	ベストフェイスメニュー.....	55
トイカメラ風 2 	43	ベストフェイスモード.....	44
動画再生.....	76	ペット 	37、41
動画撮影.....	72	ペット自動シャッター.....	41
動画設定.....	75	ヘッドセット端子.....	2、76、93
動画メニュー.....	75	ヘルプ.....	38
ドラッグ.....	4	望遠ズーム.....	23
トリミング.....	64	ポートレート 	37
トワイライト 	37	ホーム画面.....	79
ナ		ポップ POP.....	42
内蔵メモリー.....	15	ホワイトバランス.....	56
内蔵メモリー表示.....	6、8、18	本体充電 AC アダプター.....	12
長押し.....	3、4	マ	
日時合わせ.....	17	マイク (ステレオ).....	1
ノスタルジックセピア SEPIA.....	42	マクロモード.....	51
ハ		無線とネットワーク.....	86
バージョン情報.....	78	目つぶり軽減.....	56
パーティー 	37、39	目つぶり検出設定.....	77
ハイキー HI.....	42	メニュー視覚効果.....	77
パソコン.....	94、97	メモリー残量.....	18
発光禁止.....	48	モーション検知.....	25
バッテリーチャージャー.....	13	文字入力.....	83
半押し.....	25	モニター設定.....	77
		モニター表示設定.....	77

モノクロコピー  37、39

ヤ

夜景  37

夜景ポートレート  37、39

ユーザー補助 87

夕焼け  37

雪  37

ラ

らくらくオート撮影モード 34

リチウムイオン充電電池 10、12

料理  37、39

連写 56

レンズ 1、 14

レンズバリアー 1

ローキー **LO** 42

露出補正 52



A series of horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for handwriting practice.



A series of horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for handwriting practice.



A series of horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for handwriting practice.

ニコンプラザ、サービスセンターのご案内

■ニコンプラザ

ショールーム、サービスセンター、ニコンサロンを統合したニコン映像製品の総合情報拠点です。充実したサポートサービスを通して、お客さまのデジタルイメージングの世界を広げ、写真文化の普及、向上に資することを目指しています。

ニコンプラザ銀座

〒104-0061 東京都中央区銀座7-10-1 ストラータ ギンザ 1・2階
営業時間：10:30～18:30(年末年始、2月の第1土曜日とその翌日、8月の第2土曜日とその翌日を除く毎日)

ニコンプラザ新宿

〒163-1528 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー 28階
営業時間：10:30～18:30(年末年始、2月11日・12日、8月の第3日曜日とその翌日を除く毎日)

ニコンプラザ大阪

〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエスト・オフィスタワー 13階
営業時間：10:30～18:30(年末年始、2月の第3土曜日とその翌日、8月の第3土曜日とその翌日を除く毎日)

 ニコンプラザショールーム (ナビダイヤル)
0570-02-8080

 ニコンプラザサービスセンター (ナビダイヤル)
0570-02-8060

* 音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるニコンプラザをお選びください。

■サービスセンター

ニコン映像製品のメンテナンスサポートの窓口です。カメラ製品の展示の他、ご質問、ご相談もお受けしています。お気軽にご来所ください。

札幌サービスセンター

〒060-0807 札幌市北区北7条西4-3-1 新北海道ビルディング2階

名古屋サービスセンター

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-20-17 中外東京海上ビル6階

福岡サービスセンター

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-4-1 博多駅前第一生命ビル1階

(各サービスセンター共通)

営業時間：9:30～18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休業など弊社定休日を除く毎日)

 (ナビダイヤル)
0570-02-8050

* 音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるサービスセンターをお選びください。

- ナビダイヤルは一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577(ニコンカスタマーサポートセンター)におかけください。

アフターサービスについて

■この製品の使い方や修理に関するお問い合わせは

- 使い方に関するご質問は、裏面に記載の「ニコン カスタマーサポートセンター」にお問い合わせください。
- 修理に関するご質問は、裏面に記載の「修理センター」にお問い合わせください。

【お願い】

- お問い合わせいただく場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、「問題が発生したときの症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」など。
- ソフトウェアのトラブルの場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OSのバージョン」、「メモリー容量」、「ハードディスクの空き容量」、「問題が発生したときの症状」、「症状の発生頻度」、エラーメッセージが表示されている場合はエラーメッセージの内容など。
- ファクシミリや郵送でお問い合わせの場合は「ご住所」、「お名前」、「フリガナ」、「電話番号」、「FAX番号」を（会社の場合は会社名と部署名も）明確にお書きください。

■修理を依頼される場合は

ニコンサービス機関（ニコンプラザ、サービスセンター、修理センター）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。

- ニコンサービス機関について詳しくは、左ページおよび裏面をご覧ください。

【お願い】

- 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。
※内蔵メモリー内に画像データがあるときは、消去される場合があります。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ニコンサービス機関またはご購入店へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

製品の使い方に関するお問い合わせ

<ニコン カスタマーサポートセンター>

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。



0570-02-8000

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00(年末年始、夏期休業日等を除く毎日)
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 におかけください。ファクシミリでのご相談は、(03)5977-7499 にお送りください。

修理サービスのご案内

修理品のお引き取りを依頼される場合は

<ニコン ピックアップサービス>

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)が、梱包資材のお届け・修理品のお引き取り、修理後のお届け・集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の料金にて承ります。
※宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため、取り扱いできない製品もございます。



0120-02-8155

営業時間：9:00～18:00(年末年始12/29～1/4を除く毎日)

※上記のフリーダイヤルはピックアップサービス専用です。ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)にて承ります。
製品や修理に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター、または修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

<(株)ニコンイメージングジャパン 修理センター>

230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26



0570-02-8200

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日)
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

インターネットご利用の方へ

<ニコンイメージング/サポートページ>

●<http://www.nikon-image.com/support/>

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデートに関する情報がご覧いただけます。
※製品をより有効にご利用いただくために、定期的にアクセスされるようおすすめします。

●<http://www.nikon-image.com/support/repair/>

「ニコン ピックアップサービス」のお申し込みや修理見積もり金額の確認、インターネットを利用して修理を申し込まれた場合の修理状況や納期の確認などがご覧いただけます。

※お問い合わせや修理を依頼をされるときには、裏面の「アフターサービスについて」も参照ください。

株式会社 **ニコン**

株式会社 **ニコン イメージング ジャパン**

Printed in Indonesia

YP4D02(10)

6MN27710-02

© 2013 Nikon Corporation